



公益財団法人 沖縄県建設技術センター

沖縄県電子納品に関する手引き対応

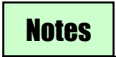
電子納品チェックソフト

Ver12.0

操作マニュアル

バージョン 12.0

このマニュアルの表記規則

 括弧で囲む	例 [OK] は、実画面上のボタンをクリックや選択などの操作が必要です。
「 」 括弧で囲む	例「検索結果」は、画面の名称などの引用です。
	ソフトの画面各部に関する注釈、説明です。
 注意	各ソフトの操作に関する注意事項です。
	各ソフトの操作に関する補足説明です。
 操作手順	これ以降実操作の手順を示します。

Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。

Adobe Acrobat は米国アドビシステムズ社の登録商標です。

このマニュアルの内容に関しては、製品改良のため予告なしに変更することがあります。

このマニュアルの内容一部または全部を無断で複写・複製することは禁じられています。

目 次

1. 概要	1-1
1.1 対応要領（案）	1-2
1.2 主な機能	1-4
1.3 検査項目	1-5
2. クイックスタート	2-1
3. 沖縄県電子納品チェックソフトの基本操作	3-1
3.1 沖縄県電子納品チェックソフトの起動と終了	3-2
3.2 メイン画面構成	3-3
4. 沖縄県電子納品チェックソフトで成果品の検査	4-1
4.1 検査方法	4-2
4.2 検査の結果	4-16
4.2.1 検査結果のタブ	4-17
4.2.2 複数成果種類を読み込んだ場合（国交省平成 22 年 9 月以降工事要領）	4-33
4.2.3 適用要領（案）情報	4-34
4.3 検査済みの成果品データ再表示	4-35
4.4 検査操作ログの表示	4-36
5. 環境設定	5-1
5.1 動作設定	5-3
5.2 オプション設定	5-9
5.3 ファイルサイズ設定	5-14
6. 自動バージョン照合機能	6-1
6.1 バージョン自動照合	6-1
6.2 バージョンアップに関して	6-2
6.3 インターネットの接続環境に関して	6-3

1.概要

沖縄県電子納品チェックソフトは、電子成果品及びデータが沖縄県の電子納品要領に準拠して作成されているかの検査を行うシステムです。

この操作説明書では、沖縄県電子納品チェックソフトを用いて電子納品成果品データの検査を行う方法について、説明します。

1.1 対応要領（案）

沖縄県電子納品チェックソフトの対応要領（案）を示します。

沖縄県電子納品チェックソフトは、以下の各策定年月版要領（案）に対応します。

【表 1】 対応する各策定年月要領（案）一覧[国土交通省]：

土木設計業務の電子納品要領(案)	平成 12 年 3 月版	平成 13 年 8 月版	平成 16 年 6 月版
	平成 20 年 5 月版	平成 28 年 3 月版	令和 5 年 3 月版
工事完成図書の電子納品要領(案)	平成 12 年 3 月版	平成 13 年 8 月版	平成 16 年 6 月版
	平成 20 年 5 月版	平成 22 年 9 月版	平成 28 年 3 月版
	令和 5 年 3 月版	-	-
デジタル写真管理情報基準(案)	平成 11 年 8 月版	平成 14 年 7 月版	平成 16 年 6 月版
	平成 18 年 1 月版	平成 20 年 5 月版	平成 22 年 9 月版
	平成 28 年 3 月版	令和 5 年 3 月版	-
CAD 製図基準(案)	平成 12 年 3 月版	平成 13 年 8 月版	平成 14 年 7 月版
	平成 15 年 7 月版	平成 16 年 6 月版	平成 20 年 5 月版
	平成 28 年 3 月版	平成 29 年 3 月版	-
地質・土質調査成果電子納品要領(案) ※旧 地質調査資料整理要領(案)	平成 13 年 3 月版	平成 13 年 8 月版	平成 14 年 7 月版
	平成 15 年 7 月版	平成 16 年 6 月版	平成 20 年 12 月版
	平成 28 年 10 月版	-	-
測量成果電子納品要領(案)	平成 14 年 7 月版	平成 15 年 3 月版	平成 16 年 6 月版
	平成 18 年 9 月 ガイドライン	平成 20 年 12 月版	平成 28 年 3 月版
	令和 3 年 3 月版	-	-
土木設計業務・電気通信設備編	平成 15 年 7 月版	平成 16 年 6 月版	平成 22 年 9 月版
	平成 28 年 3 月版	令和 5 年 3 月版	-
工事完成図書・電気通信設備編	平成 15 年 7 月版	平成 16 年 6 月版	平成 22 年 9 月版
	平成 28 年 3 月版	令和 5 年 3 月版	-
CAD 製図・電気通信設備編	平成 15 年 7 月版	平成 16 年 6 月版	平成 22 年 9 月版
	平成 28 年 3 月版	平成 29 年 3 月版	-
土木設計業務・機械設備編工事	平成 16 年 3 月版	平成 18 年 3 月版	平成 24 年 12 月版
	平成 28 年 3 月版	令和 5 年 3 月版	-
工事完成図書・機械設備工事編	平成 16 年 3 月版	平成 18 年 3 月版	平成 24 年 12 月版
	平成 28 年 3 月版	令和 5 年 3 月版	-
CAD 製図・機械設備工事編	平成 16 年 3 月版	平成 18 年 3 月版	平成 24 年 12 月版
	平成 28 年 3 月版	平成 29 年 3 月版	-
港湾局・CAD 図面作成要領(案)	平成 15 年 3 月版	平成 16 年 3 月版	平成 17 年 3 月版
港湾局・電子納品等運用ガイドライン 【資料編】	平成 20 年 7 月版	平成 29 年 3 月版	平成 30 年 3 月版
	令和 6 年 3 月		

【表 2】 対応する各策定年月要領（案）一覧[官庁営繕]：

建築設計業務等の電子納品要領(案)	平成 14 年 11 月版	平成 24 年 4 月版
	平成 30 年 4 月版	令和元年 10 月版
	令和 3 年 3 月版	-
営繕工事電子納品要領(案)	平成 14 年 11 月版	平成 24 年 4 月版
	平成 30 年 4 月版	令和元年 10 月版
	令和 3 年 3 月版	-
建築 CAD 図面電子納品要領(案)	平成 14 年 11 月版	-

1.2 主な機能

沖縄県電子納品チェックソフトの主な機能を紹介します。

■ 電子納品データ判別機能

電子納品データを読み込む際に、DTD バージョンを自動的に判別し、検査を行います。但し、DTD バージョンやデータが含まれていない場合、どちらを検査の基準にするか、手動で選択する必要があります。

■ 検査機能

電子納品データを読み込み、XML ファイルの規約（XML 構文、入力項目）、及び納品ファイルの規約（ファイル名称、存在）、PDF ファイル、ファイル日付について、検査を行います。検査結果はレポートとして表示／印刷が可能です。

1.3 検査項目

沖縄県電子納品チェックソフトで検査する項目について、説明します。

沖縄県電子納品チェックソフトで検査する項目：

検査項目		検査内容
入力項目検査	必須入力検査	必須入力を検査する
	文字数検査	文字数を検査する
	使用文字検査	使用文字コードを検査する
納品ファイル 名の命名規則 検査	文字数検査	文字数を検査する
	使用文字検査	使用文字コードを検査する
	拡張子検査	拡張子が、フォルダ毎の指示通りか検査する
	連番検査	ファイル名に連番を持つものに対して、正しく連番が設定されているか検査する
XML ファイル の検査	XML ファイルの 存在検査	XML ファイルが存在するか検査する
	XML ファイルの 内容検査	DTD の通りに、タグおよびデータが指定されているか検査する
	納品ファイルの 存在検査	XML ファイルの指示通りに、納品ファイルが存在しているか検査する
CAD チェック	レイヤ名、線種、線色、線幅、図面サイズ、余白サイズ、背景同色、文字サイズ、禁則文字等を検査する	
PDF チェック	フォント、しおり、セキュリティ、ページレイアウト、サムネール、初期表示状況を検査する	
日付チェック	「実ファイルの更新日時と INDEX の工期範囲情報」や「JPG ファイルの EXIF 情報とファイル更新日時」に不整合がないか検査する（初期状態：OFF / 通常使用しません。）	

2. クイックスタート

この章では、沖縄県電子納品チェックソフトの簡単な操作手順について説明します。

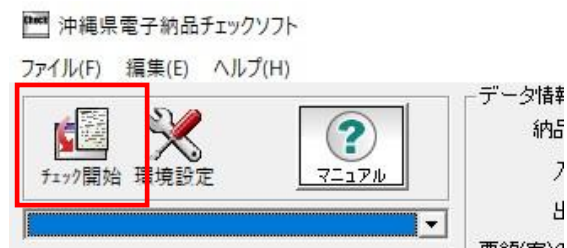
1. 沖縄県電子納品チェックソフトの起動

デスクトップにあるアイコンをダブルクリックします。



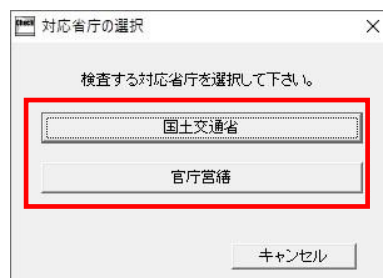
2. チェック開始

メイン画面チェック開始のアイコンをクリックします。



3. 対応省庁の選択

検査する対応省庁を選択します。



土木編・機械設備編・電気通信編・
港湾編は国土交通省を選択します。

建築編は官庁営繕を選択します。



4. 検査する電子成果品の場所を指定（Step-1）

成果品を入れたドライブ名をリストから選択し、[次へ]をクリックします。
PC内の成果品データを検査する場合は[参照]から成果品の場所を指定します。

対応省庁選択で国土交通省を選択した場合、Step-1の画面は下図になります。
成果品を入れたドライブ名をリストから選択します。
PC内の成果品データを検査する場合は[参照]から成果品の場所を指定します。
国交省平成22年9月以降の工事要領で、電子成果品のほかに工事写真、工事帳票が受注者より提出されている場合は、それぞれのチェックボックスにチェックを入れ、ドライブ名の選択、もしくは[参照]からデータの場所を指定します。
選択が完了しましたら、[次へ]をクリックします。



5. 対応要領（案）及び検査するフォルダを指定（STEP-3）

※初期設定では Step2（検査条件指定）画面は省略されます。

A.要領（案）の年月が表示されている場合は、変更する必要はありません。

「選択してください」と表示されている場合は、[▼] で選択して下さい。

B.検査しないフォルダがある場合、チェックをはずして下さい。

通常は変更する必要はありません。そのまま[実行]をクリックします。

入力された電子納品成果品の情報

Step-3 対応要領（案）及び検査するフォルダを指定します。

要領（案）の選択

要領（案）の種類	工事完成図書 平成28年3月	検索
デジタル写真管理情報基準（案）	XMLファイルが存在しません	検索
CAD製図基準（案）	平成28年3月	検索
地質・土質調査成果電子納品要領（案）	平成28年10月	検索

検査フォルダの指定

☒ MEET(打合せ簿フォルダ)	☒ PLAN(施工計画書フォルダ)
☒ REGISTER(台帳フォルダ)	☒ OTHERS(その他フォルダ)
☒ DRAWINGS(発注図面フォルダ)	☒ DRAWINGF(工事完成図フォルダ名)
☒ BORING(地質データフォルダ)	

☐ 次回からこの画面を表示しない

実行 キャンセル

6 検査の実行

検査が実行され、進捗状態が表示されます。

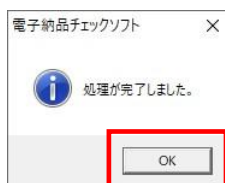


位置情報表示画面が表示されますので、確認後「閉じる」をクリックします。

※環境設定画面にて表示/非表示を選択できます。

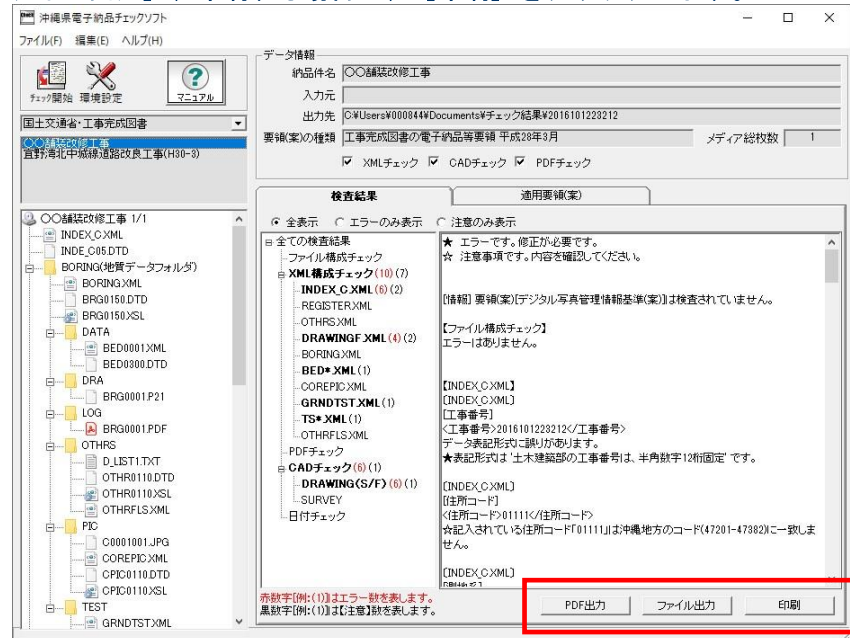


処理が終了すると、完了メッセージ画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



7 検査結果の閲覧・保存（出力）・印刷

検査結果を画面上で確認します。結果を保存する場合は、【PDF 出力】、【ファイル出力】、印刷する場合は、【印刷】をクリックします。



3.沖縄県電子納品チェックソフトの基本操作

本章では、沖縄県電子納品チェックソフトの起動・終了方法、及び画面の構成について説明します。

3.1 沖縄県電子納品チェックソフトの起動と終了

沖縄県電子納品チェックソフトの起動及び終了方法を説明します。

操作手順

1. Windows の [スタート] ボタン⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [沖縄県電子納品チェックソフト] を選択します。

または、デスクトップに作成された [沖縄県電子納品チェックソフト] のショートカットをダブルクリックで起動します。



バージョン照合画面が表示される場合があります。この場合、【6 自動バージョン照合機能】を参照して下さい。

2. 「沖縄県電子納品チェックソフト」メイン画面が表示されます。

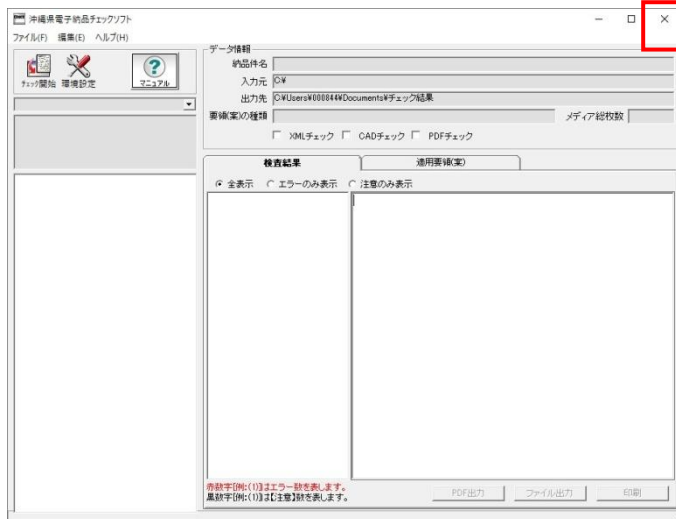


図 3-1

3. 「沖縄県電子納品チェックソフト」メイン画面を終了するには、「×」ボタンをクリックします。

3.2 メイン画面構成

沖縄県電子納品チェックソフトのメイン画面構成を説明します。

画面説明

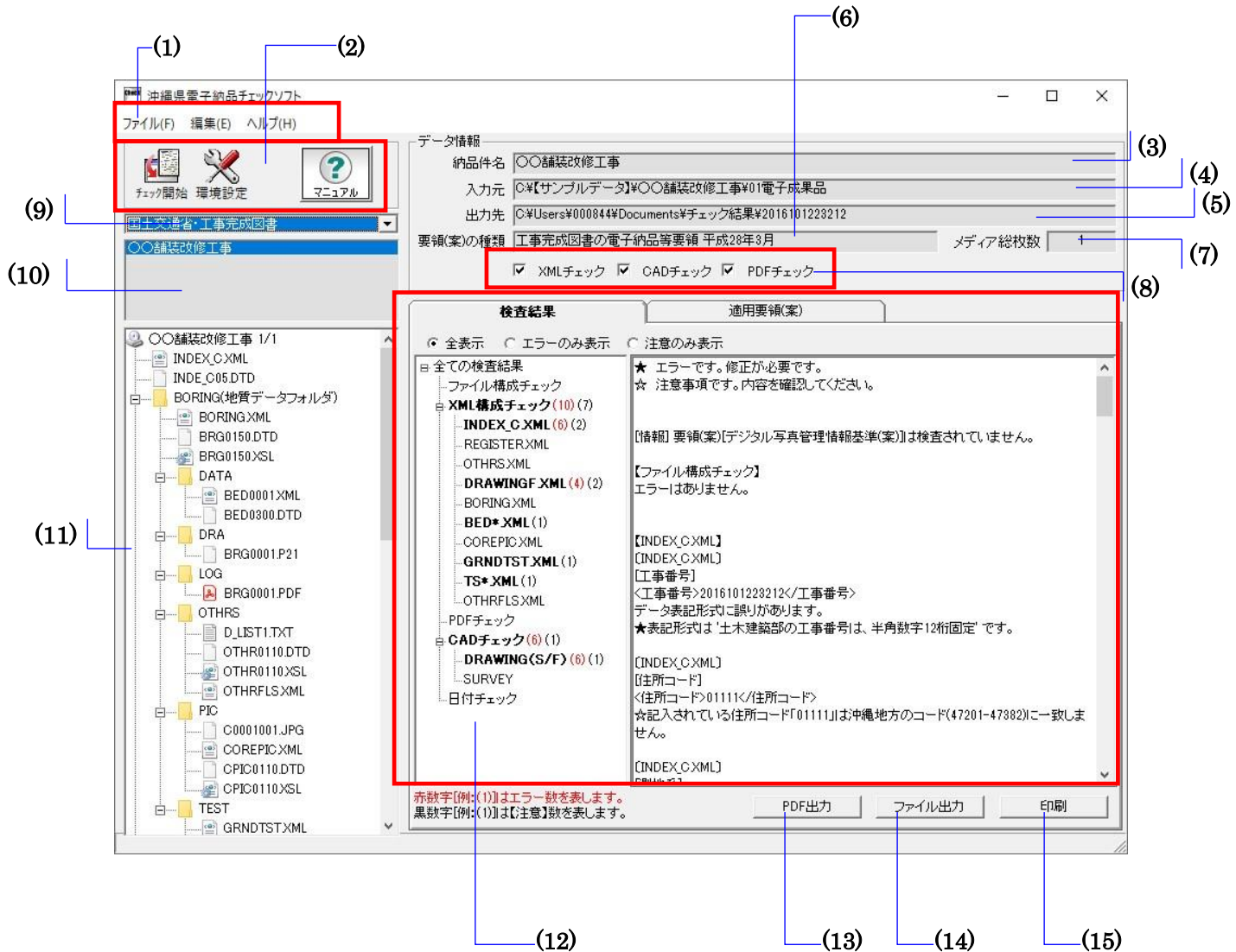


図 3-2

Notes

(1)メニューバー

- ファイル**（クリックすると以下の項目が表示されます。）

チェック開始——データの入力元を指定して検査を開始

PDF 出力（表示、ファイル保存）——検査結果を帳票形式の PDF で表示・保存

ファイル出力——検査結果をテキスト形式、リッチテキスト形式で出力

印刷（印刷プレビュー、印刷）——検査結果を印刷プレビュー表示または印刷

終了——沖縄県電子納品チェックソフトを終了

- 編集**（クリックすると以下の項目が表示されます。）

環境設定——環境設定画面を表示

検査操作ログ（全体検査ログ、成果品毎検査ログ）——検査操作ログを表示

- ヘルプ**（クリックすると以下の項目が表示されます。）

サポート情報——沖縄県電子納品チェックソフトサポートページへのリンク

バージョン情報——沖縄県電子納品チェックソフト のバージョン情報を表示

バージョン照合——バージョン自動照合機能の起動

改訂履歴——ソフトの改訂履歴を表示

(2)ツールバー

チェック開始——検査を開始

環境設定——環境設定画面を表示

マニュアル——本操作マニュアルを表示（PDF 形式）

(3)納品件名

管理ファイルに記述されている“業務名称”や“工事名称”を表示します。

(4)入力元

環境設定で指定した「入力元」のパスを表示します。

(5)出力先

環境設定で指定した「出力元」のパスを表示します。

(6)要領（案）の種類

適用する要領（案）の種類及び発表年度を表示します。

(7)メディア総枚数

納品された媒体の総枚数を表示します。

(8)処理状況表示

沖縄県電子納品チェックソフトで処理した状況を表示します。処理した内容は、チェックが付きます。XML チェック、CAD チェック、PDF チェックの処理を実行したかどうかを確認できます。

- ・ 以下は全ての処理を行ったことを示します。

☒ XMLチェック ☒ CADチェック ☒ PDFチェック

(9)成果品の種類の表示

検査した電子成果品が対応する要領（案）の種類を表示します。あるいは既存の検査結果がある場合、対応する要領（案）の種類を選択します。

(10)成果品の名称の表示

読み込んだデータの納品件名、あるいは選択された要領（案）の種類に既存の検査済の成果品データがある場合、その一覧を表示します。

(11)成果品のツリーの表示

読み込んだ成果品データあるいは選択した既存の検査結果データのファイル・フォルダツリーを表示します。

ツリーに表示されたファイルをダブルクリックすると、ファイルと関連づけているアプリケーションが起動し、ファイルを表示できます。

(12)検査結果・適用要領（案）表示

●検査結果

成果品データの検査結果を表示します。（検査後は常に「検査結果」のタブが優先に表示されます。）

検査結果表示領域には、検査結果分類ツリー部分と検査結果詳細表示部分に分かれます。

検査結果分類ツリー部分は、検査結果エラーの内容によって「ファイル構成」、「XML 要素」、「PDF チェック」、「CAD チェック」、「日付チェック」に分類されます。

検査結果詳細表示部分は、「ファイル構成」、「XML 要素」、「PDF チェック」、「CAD チェック」、「日付チェック」を選択した際に、それぞれ詳細エラー内容を表示します。

●適用要領（案）

検査に適用した各要領（案）と発表年月を表示します。

(13)PDF 出力

検査結果を帳票形式の PDF で表示または保存します。

(14)ファイル出力

検査結果をテキストファイル形式またはリッチテキスト形式で出力します。

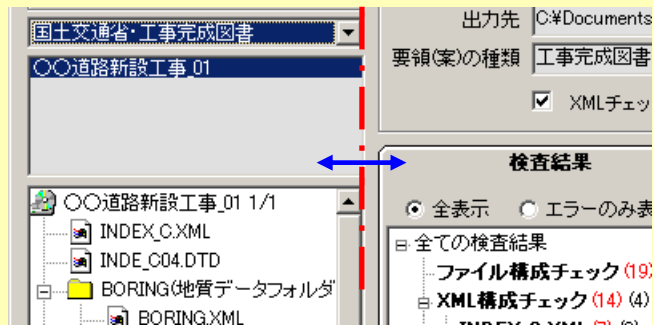
(15)印刷

検査結果を印刷プレビューまたは印刷します。



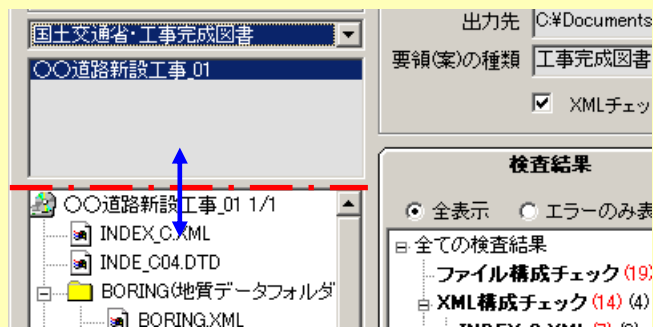
成果品の種類・名称・ツリー表示領域の幅を広くするには：

下図のように、左右を動かすことによって、幅を調整することができ、ツリーに表示される成果品データがより参照しやすくなります。



成果品の名称とツリー表示領域の高さを調節するには：

下図のように、上下を動かすことによって、高さの調整ができます。



4. 沖縄県電子納品チェックソフトで成果品の 検査

電子納品チェックソフトでは、環境設定によって、用途、効率に応じて多様な検査機能が実現できますが、この章では、電子納品チェックソフトの初期設定（デフォルト設定）に基づいて、電子成果品の検査手順を説明します。

環境設定による多様な検査方法に関しては、【5 環境設定】で紹介します。

4.1 検査方法

検査手順について説明します。

操作手順

1. 沖縄県電子納品チェックソフトを起動します。
2. メイン画面の「チェック開始」をクリックします。

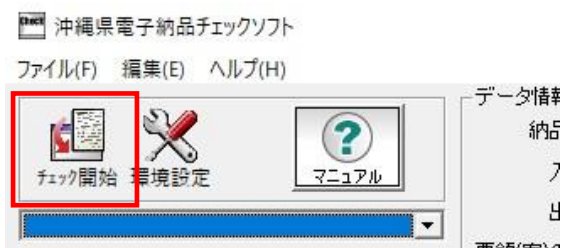


図 4-1

3. 「対応省庁の選択」画面が表示されます。検査する成果品に対応する省庁（「国土交通省」または「官庁営繕」）のボタンをクリックします。

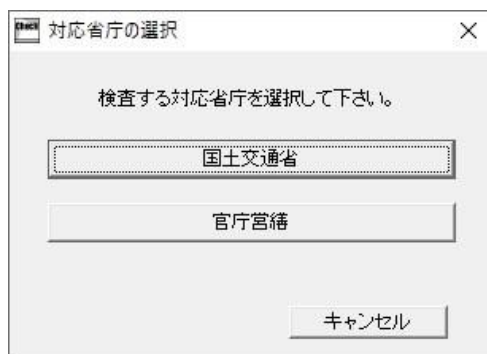


図 4-2

4. 「Step-1 検査する電子成果品の場所を指定します。」画面が表示されます。
「Step-1」画面は、対応省庁により、画面構成が異なります。

〔官庁営繕〕

リストから成果品を入れたドライブ名を選択し、〔次へ〕をクリックします。

PC 内にある成果品データを読み込む場合は、〔参照〕ボタンから「入力元指定」画面を表示し、成果品が格納されたフォルダを指定し、〔OK〕をクリックします。

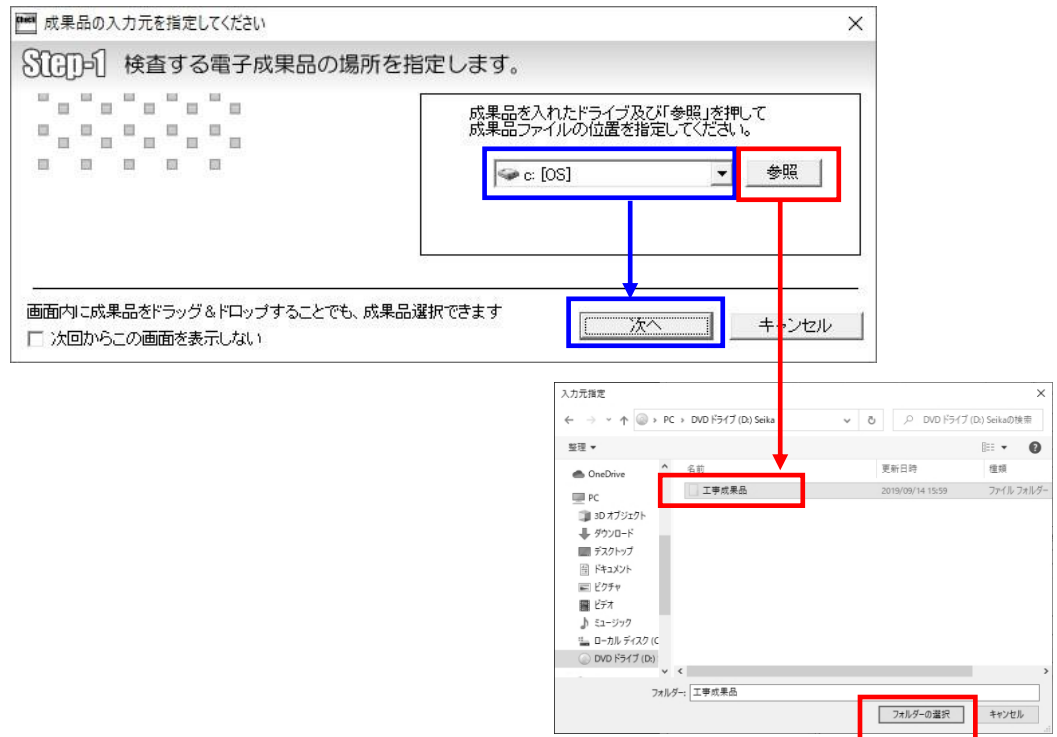
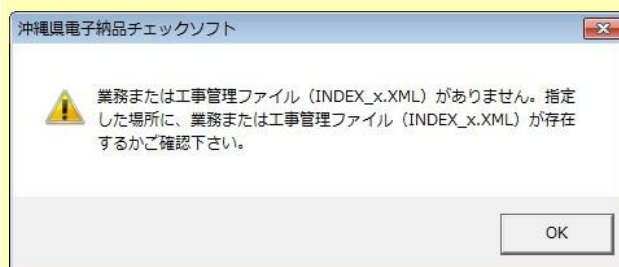


図 4-3



指定した場所に、業務または工事管理ファイル (INDEX_x.XML) が存在しない場合、下図エラーが出ます。

指定した場所に、業務または工事管理ファイルが存在するかご確認下さい。



〔国土交通省〕

リストから成果品を入れたドライブ名を選択し、[次へ]をクリックします。

PC 内にある成果品データを読み込む場合は、[参照]ボタンから「入力元指定」画面を表示し、成果品が格納されたフォルダを指定し、[OK]をクリックします。

場所の指定が完了しましたら、[次へ]をクリックしてください。

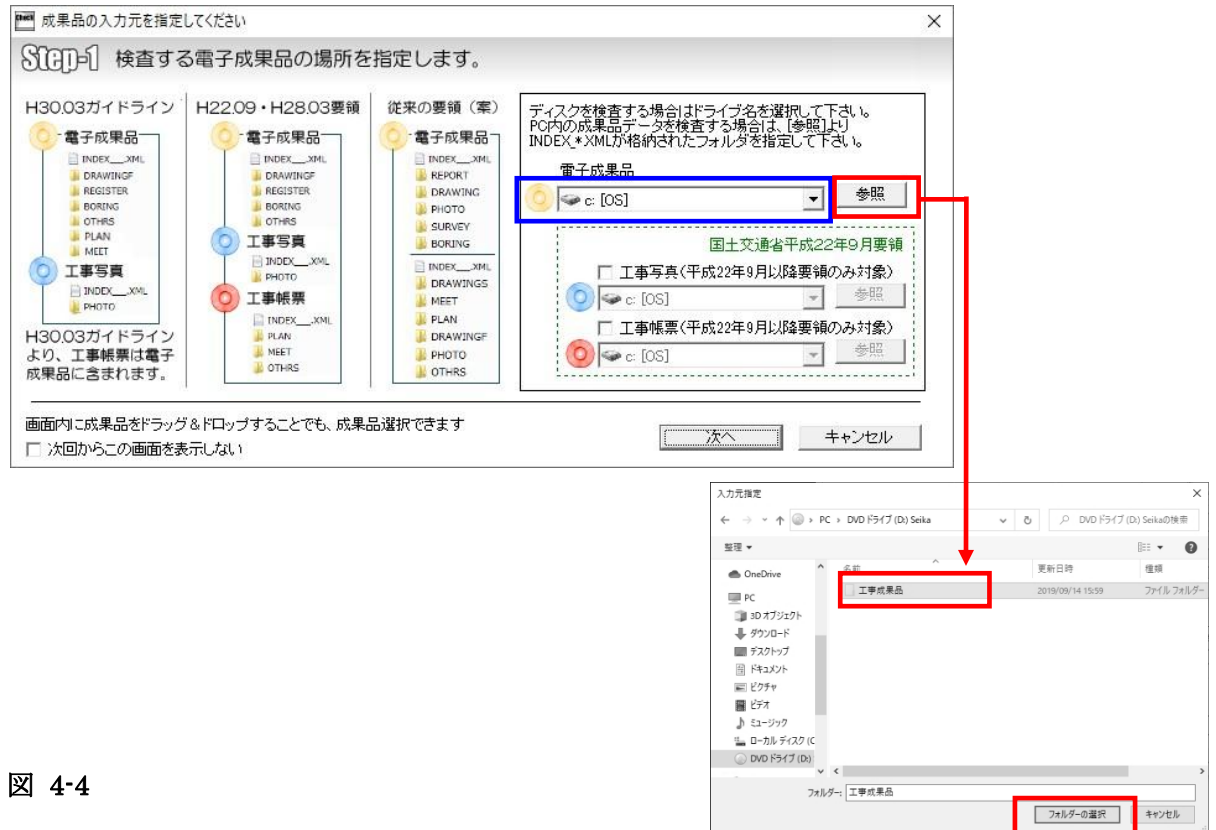


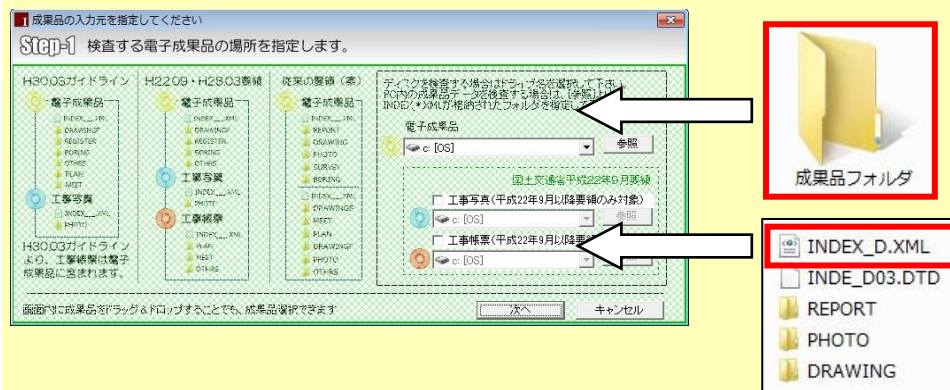
図 4-4



「成果品フォルダ」または「成果品フォルダ内の INDEX ファイル」を画面上の指定部分へドラッグ&ドロップすることでも、成果品選択できます。

※[工事写真][工事帳票]は☑がある場合のみ有効です。

※成果品フォルダを画面上にドラッグして重ね、緑色になった部分にドロップして下さい。





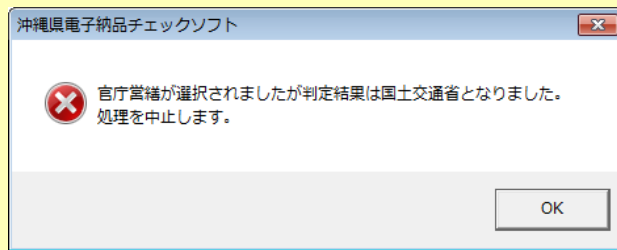
■ 平成 22 年 9 月以降工事要領成果品の場合、3 つの成果種類（電子成果品、工事写真、工事帳票）がそれぞれの別の媒体として納品されます。受注者から工事写真、工事帳票の提出があった場合は、工事写真、工事帳票のチェックボックスにチェックを入れ、それぞれドライブまたはデータの場所を指定して下さい。

■ 平成 22 年 9 月以降工事要領成果品で、3 つの成果種類（電子成果品、工事写真、工事帳票）が一つにまとめられた場合についても、検査可能です。その場合、「電子成果品」の箇所のみ、成果品を指定して下さい。

（「工事写真」「工事帳票」を指定する必要はありません。）

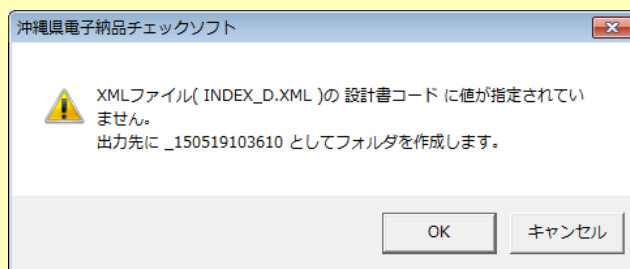
■ 平成 30 年 3 月国土交通省の電子納品等運用ガイドラインでは、電子納品対象に工事帳票 (PLAN、MEET) が追加され、2 つの成果種類（電子成果品、工事写真）となりました。この場合、「電子成果品」と「工事写真」の 2 箇所成果品を指定して下さい。

（「工事帳票」を指定する必要はありません。）

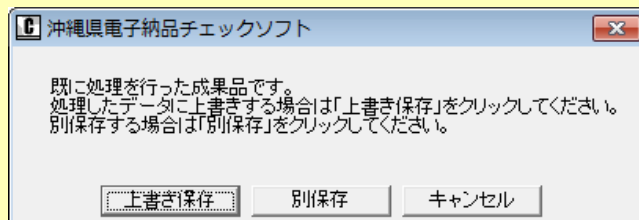


別省庁の電子成果品を誤って検査した場合に表示されます。

[OK] をクリックし、はじめから操作をやり直して下さい。



業務または工事管理ファイル (INDEX_x.XML) に設計書コード (工事番号) の記述がない場合に表示されます。成果品を識別するため、現在の“年月日時分秒”の組み合わせでフォルダを作成し、成果品の管理を行うことについての確認メッセージです。検査を続行する場合は [OK] を、中断する場合は [キャンセル] をクリックして下さい。



同じ電子成果品データを再度検査する場合に表示されます。

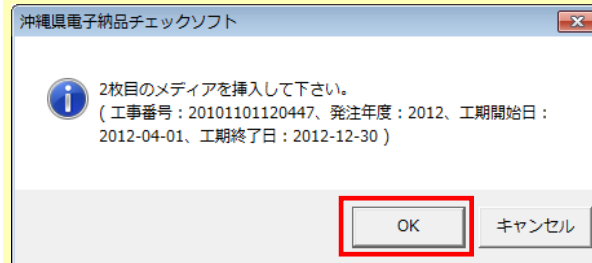
データを上書きする場合は [上書き保存] を、別保存する場合は [別保存] をクリックして下さい。別保存すると、成果品名称に「+再検査 n」が追加されます。

また、既に再検査で [別保存] を行った成果品に対し [上書き保存] をクリックすると、「今までチェックを行った複数回数の検査結果が全て削除されます。よろしいですか？」と確認メッセージが表示されます。データを上書きする場合は [上書き保存] をクリックして下さい (⇒再検査を含む全ての結果が削除され、新たな検査結果が作成されます)。別保存する場合は [いいえ] をクリックして下さい (⇒前のメッセージ画面に戻ります)。

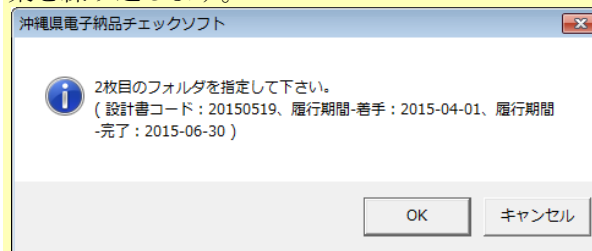


成果品が複数枚存在する場合：

複数メディアで構成されている場合は、処理途中で、メディアの入替を要求する画面が表示されます。ドライブのメディアを入れ替えてから [OK] をクリックします。

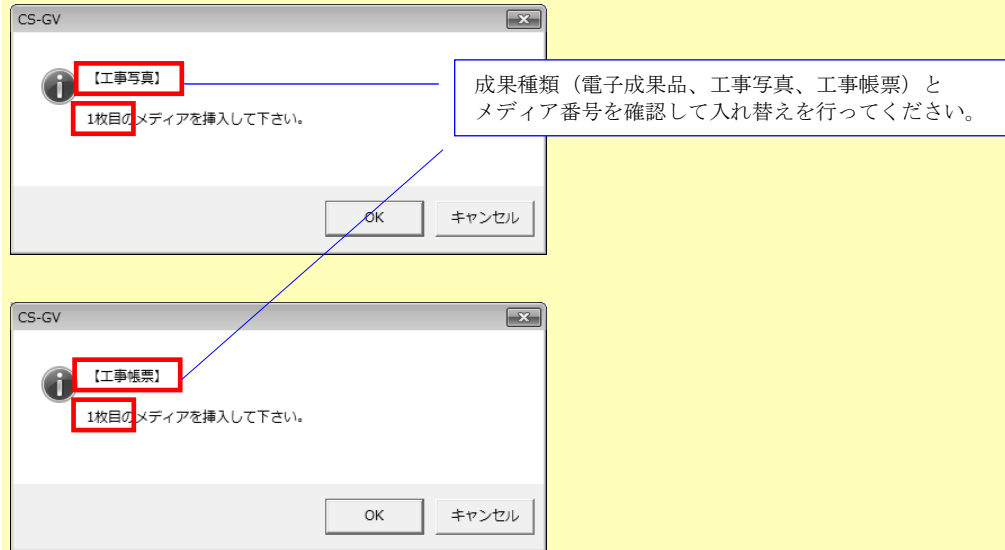


PC 内の成果品で複数枚に分かれている場合は、下図のような画面が表示されますので、[OK] を押し、2 枚目の成果品の場所を指定します。3 枚組以上の場合はこの作業を繰り返します。



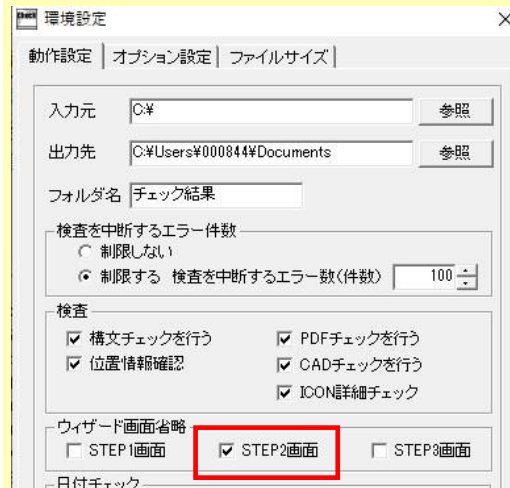


複数成果種類のメディアを読み込む場合（国土交通省平成 22 年 9 月以降工事要領）：
国土交通省平成 22 年 9 月以降工事要領で作成された複数種類の成果データをメディア
から読み込む場合、途中メディアの差し替えが発生しますので、メディアを間違え
ないように注意して入れ替え作業を行ってください。





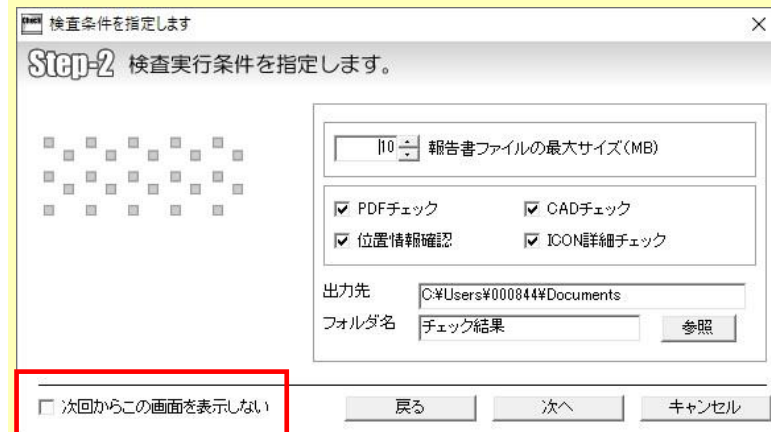
環境設定画面の「Step-2 画面」のチェックを外すと、次回検査より Step-2 画面が表示されます。



Step-2 画面では検査条件を変更できます。

※通常、変更する必要はありません。

Step-2 画面の「次回からこの画面を表示しない」にチェックを入れて検査を行うと、次回の検査より Step-2 画面を省略できます。



5. 「Step-3 対応要領(案)及び検査するフォルダを指定します。」画面が表示されます。
 下図「A」にて、事前協議で定めた要領(案)の年月になっているか確認して下さい。
 下図「B」にて、検査しないフォルダがある場合、チェックをはずして下さい。
 確認後、「実行」をクリックします。

入力された電子納品成果品の情報

Step-3 対応要領(案)及び検査するフォルダを指定します。

要領(案)の選択

要領(案)の種類	年月
工事完成図書	平成28年3月
デジタル写真管理情報基準(案)	XMLファイルが存在しません
CAD製図基準(案)	平成28年3月
地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成28年10月

検査フォルダの指定

- ☒ MEET(打合せ簿フォルダ)
- ☒ REGISTER(台帳フォルダ)
- ☒ DRAWINGS(発注図面フォルダ)
- ☒ BORING(地質データフォルダ)
- ☒ PLAN(施工計画書フォルダ)
- ☒ OTHERS(その他フォルダ)
- ☒ DRAWINGF(工事完成図フォルダ名)

☐ 次回からこの画面を表示しない

実行 キャンセル

図 4-5



要領(案)の自動判別について：

■自動判別ができた場合、

「要領(案)の選択」に、自動判別された要領(案)の年月が表示されます。

■自動判別できない場合

要領(案)のリストに、"選択して下さい"と表示されます。このとき「実行」ボタンはクリックできません。

「要領(案)の種類」等の「▼」をクリックして対応要領(案)を選択することで、「実行」ボタンがクリックできるようになります。

デジタル写真管理情報基準(案)	平成14年7月
CAD製図基準(案)	選択してください
地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成14年7月



フォルダに XML が存在しない場合（元々成果品フォルダが存在しない場合含む）、
“XML ファイルが存在しません” とメッセージが表示されます。
この場合、要領（案）を選択せず [実行] をクリックして下さい。

要領(案)の選択	
要領(案)の種類	土木設計業務 平成20年5月
デジタル写真管理情報基準(案)	平成20年5月
CAD製図基準(案)	平成20年5月(平成20年7月港湾局含む)
地質・土質調査成果電子納品要領(案)	XMLファイルが存在しません
測量成果電子納品要領(案)	XMLファイルが存在しません

ただし、BORING、SURVEY のフォルダに、BORING.XML、SURVEY.XML がなくても、サブフォルダである BORING¥TEST や SURVEY¥KASEN 等に GRNDTST.XML、SURV_KSN.XML 及びデータが存在する場合、ここで、要領（案）を選択すると、サブフォルダ以下が検索できるようになります。



要領（案）の手動選択は、[▼] をクリックしての選択する他に、リストボックス横の参照ボタン から選択可能です。

要領選択後、 [変更] ボタンをクリックして下さい。

【要領選択】 適用する要領を選択してください

選択してください	
平成28年3月	
平成22年9月	
平成20年5月	
平成18年1月	【PHOTO04.DTD】
平成18年1月	【PHOTO03.DTD】
平成16年8月	【PHOTO03.DTD】
平成14年7月	
平成11年8月	

変更

キャンセル



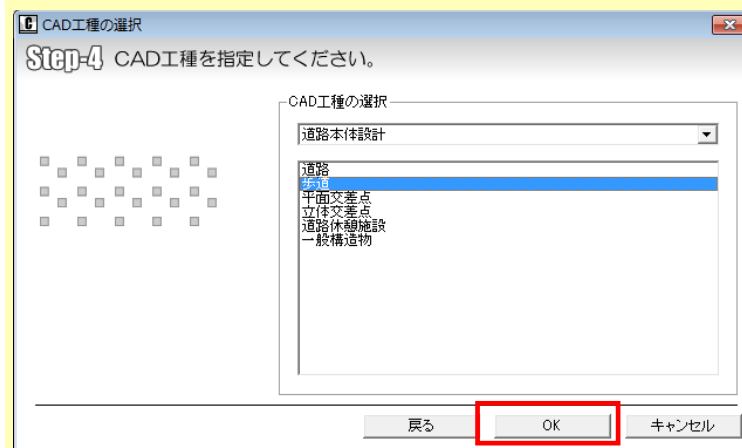


検査する必要がないフォルダについては、「検査フォルダの指定」で、フォルダのチェック [☑] を外して下さい。



平成 16 年より前の要領（案）の成果品データを検査した場合、Step-3 の [実行] をクリックすると、「CAD 工種の選択」（Step-4）の画面が表示されます。

[▼] で設計種類を選択した後、一覧から工種を選択して下さい。[OK] をクリックすると、検査が始まります。



選択できる工種は 1 工種のみです。複数工種を含む成果品データは、再度 DRAWING（DRAWINGS、DRAWINGF）のみを検査する必要があります。

Step-3 の「検査フォルダの指定」にて、DRAWING（DRAWINGS、DRAWINGF）フォルダのみ選択して、検査を実行して下さい。

！ 注意

同じ電子成果品データを「上書き保存」で再度検査するとき、検査結果の PDF 帳票を開いたままだと、下図エラーが表示されます。「OK」ボタンをクリックし、PDF 帳票を閉じた後、再度 Step3 画面の「実行」をクリックして下さい。



6. 「検査の実行」画面が表示されます。

検査の進行状態が表示されます。



図 4-6

💡 Tips

■ 処理を中止する場合は、上図の「キャンセル」をクリックして下さい。

■ CAD データのチェック中にも、以下の進捗画面が表示されます。



CAD チェックを中止する場合は、「CAD 検査中止」ボタンをクリックします。（但し、現在チェックしているファイルが終了するまで、中止できません。）

以下の確認のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



7. 「位置情報表示」画面が表示されます。

業務または工事管理ファイル（INDEX_x.XML）の座標情報、及び地質・土質調査成果品がある場合はボーリング座標情報が、地図上に表示されます。

座標情報が正しいかどうか、地図上で確認後、「閉じる」をクリックすると、検査処理が続行されます。



図 4-7

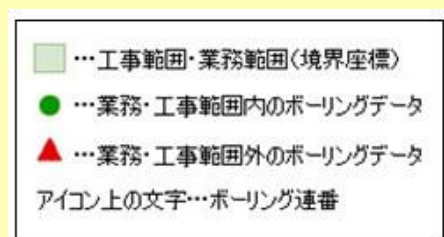
Tips

- ・地図は拡大・縮小・移動ができ、「閉じる」ボタンを押した時点での表示画面が、PDF 帳票の検査結果に反映されます。
- ・「再表示」ボタンを押すと、初期の表示に戻ります。

Tips

地図の凡例について：

《一般土木成果品》

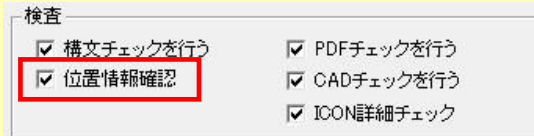


《官庁営繕成果品》

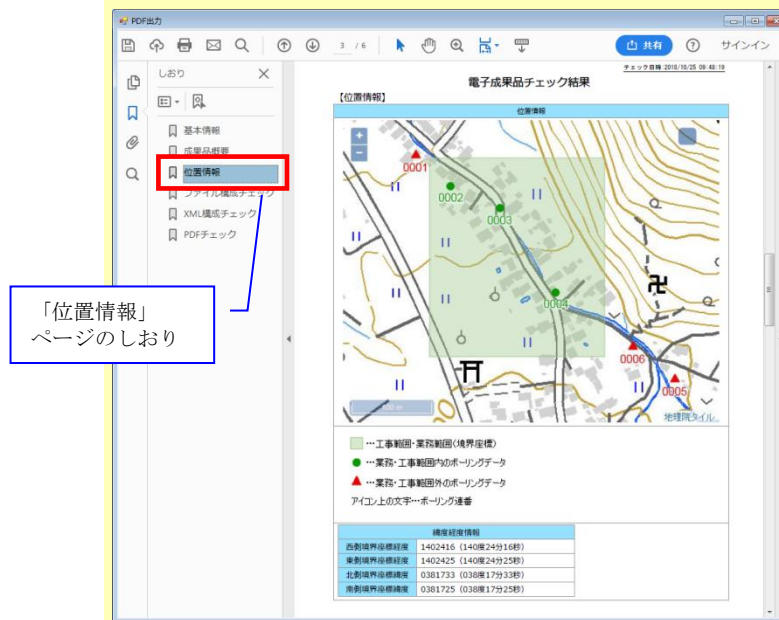




- ・本機能はインターネット接続が必須です。
インターネット接続されていない端末では、地図は表示されません。
- ・環境設定画面の動作設定タブで、位置情報表示画面の表示/非表示を設定できます。



- ・検査後、[PDF 出力] をクリックすると、PDF 帳票が表示され、位置情報ページが表示されます。位置情報表示画面で [閉じる] をクリックしたときの画面状態がそのまま印刷出力されます。



- 検査終了後、処理完了画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

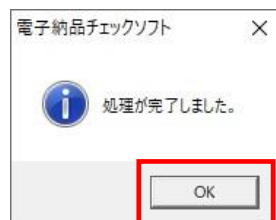


図 4-8

- 「検査結果」が表示されます。
❖ 参照：検査結果に関しては、【4.2 検査の結果】を参照して下さい。

4.2 検査の結果

検査の結果について、その見方を説明します。

検査の結果として「検査結果」、「適用要領（案）」の2つのタブに内容が記述されます。
検査が完了すると、「検査結果」のタブが優先に表示されます。

また、メイン画面上では、「納品件名」に管理ファイルに記述されている業務名称や工事名称が表示され、要領（案）種類と策定年月、及びメディア総枚数などの情報も確認できます。

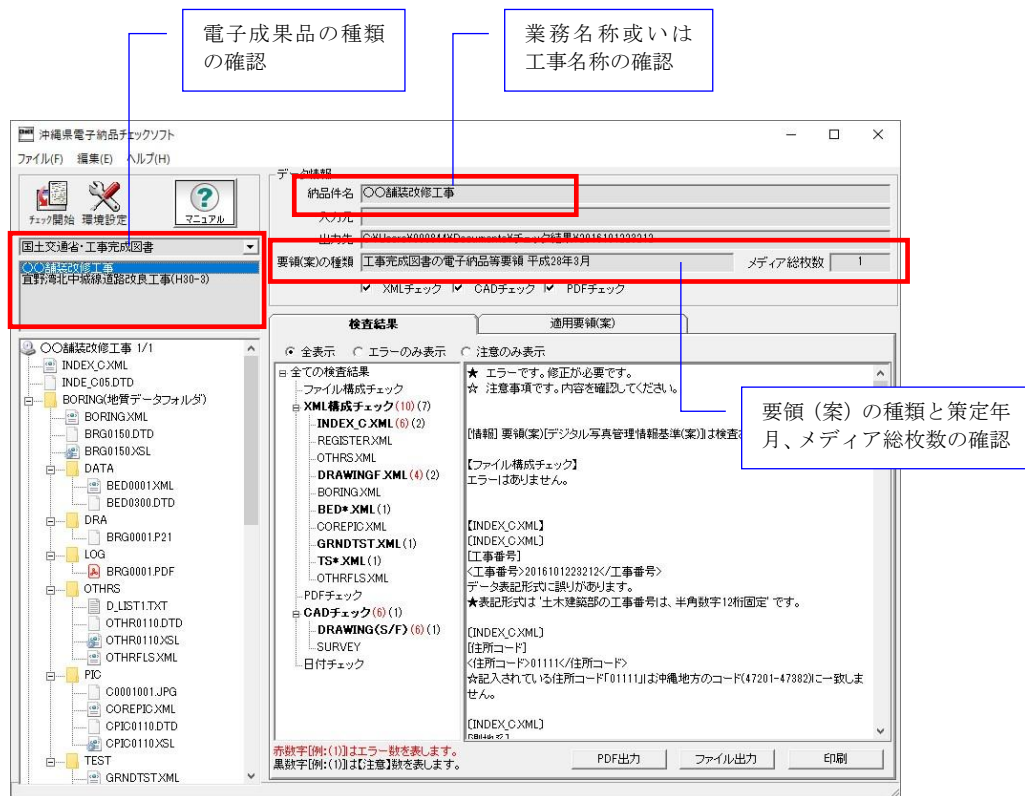
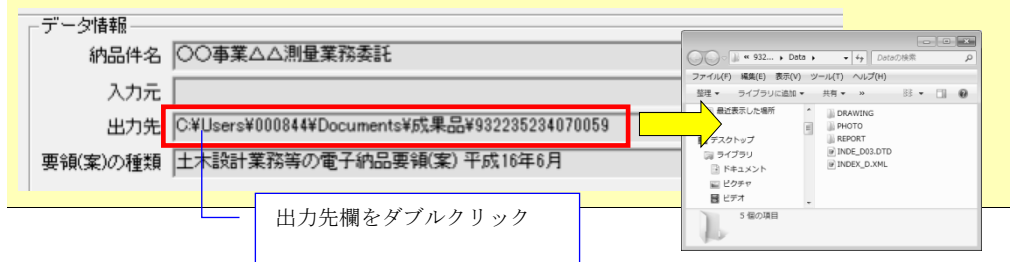


図 4-9



出力先欄をダブルクリックすると、出力先成果品フォルダが開きます。



4.2.1 検査結果のタブ

「検査結果」のタブには、検査結果分類ツリーと検査結果の詳細内容と検査結果の出力の3つの部分があります。

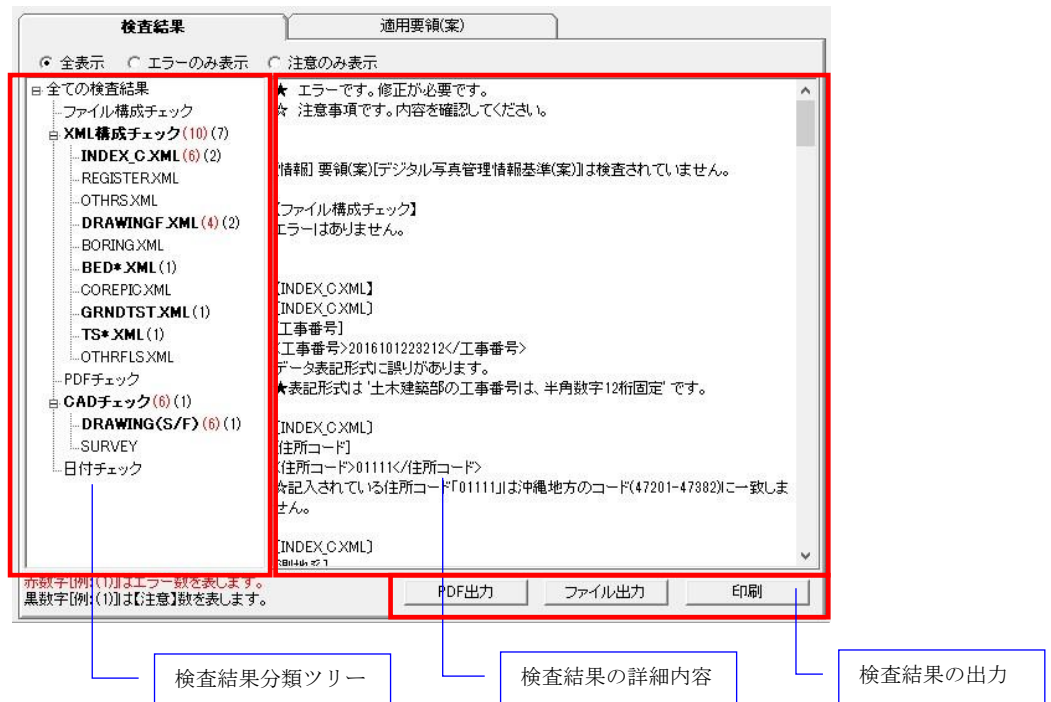


図 4-10

(1) 検査結果分類ツリー（検査結果タブの左側部分）：

検査結果分類ツリーを表示する部分には、検査結果はエラー（注意）の種類によって、「ファイル構成チェック」、「XML 構成チェック」、「PDF チェック」、「CAD チェック」に分類して表示されます。※日付チェックは、通常使用しません。

エラーのある項目は太字で表示されます。

- ファイル構成チェックは、実ファイルやフォルダ名に不具合がある場合、そのエラー件数あるいは注意件数を表示します。
- XML 構成チェックは、各 XML ファイルの記述に不具合がある場合、そのエラー件数と注意件数を表示します。
- PDF チェックは、報告書の PDF データに不具合がある場合、そのエラー件数を表示します。
- CAD チェックは、CAD データ（P21、SFC）に不具合がある場合、そのエラー件数あるいは注意件数を表示します。
- 日付チェックは、「実ファイルの更新日時と INDEX の工期範囲情報」や「JPG ファイルの EXIF 情報とファイル更新日時」に不整合がある場合、そのエラー件数を表示します。

注意

日付チェックは、環境設定画面の日付チェック設定を ON にした場合のみチェックされます。

検査結果分類ツリーの「ファイル構成チェック」や「XML 構成チェック」等に、エラー件数と注意件数を分別して表示します。

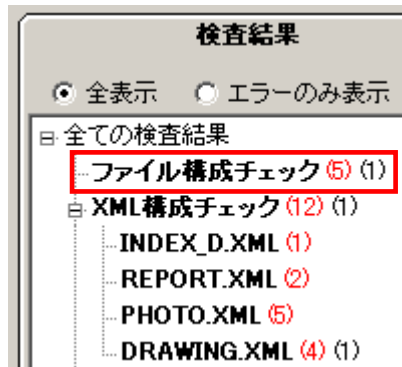


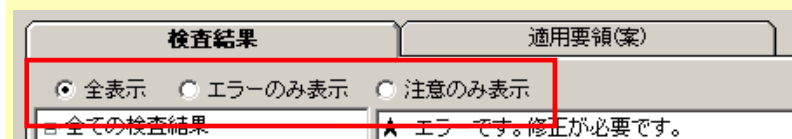
図 4-11

上図の例「ファイル構成チェック (5)(1)」では、ファイル構成チェックに、エラー5件、注意1件があることを示します。エラーは赤字、注意は黒字で表示します。

Tips

「全表示」「エラーのみ表示」「注意のみ表示」の選択について

初期設定では、全表示（エラーと注意の両方を表示する）が選択されていますが、「エラーのみ表示」または「注意のみ表示」を選択すると、「エラー」「注意」のどちらか一方のみを表示することができます。



(2) 検査結果の詳細内容（検査結果タブの右側部分）：

検査結果分類ツリーにある「ファイル構成チェック」、「XML 構成チェック」、「PDF チェック」、「CAD チェック」、「日付チェック」の各項目を選択した際に、それぞれの詳細エラー内容を表示します。

全ての検査内容を表示するには、ツリー階層最上部にある「全ての検査結果」を選択します。

1) ファイル構成チェック

ファイル構成チェックでは、ファイル構成に関するエラー、注意が表示されます。

例：

- ファイル名が半角英数大文字、12 桁以内になっていない規約外のファイルが含まれている場合
- 工事または業務管理ファイル（INDEX_x.XML）にフォルダ名の情報が記述されているが、成果品内にそのフォルダが存在しない場合

また、「ファイル構成チェック」でファイル・フォルダ名にエラーがある場合、成果品構造ツリーに赤い「×」印が表示されます。（ICON フォルダは対象外です）

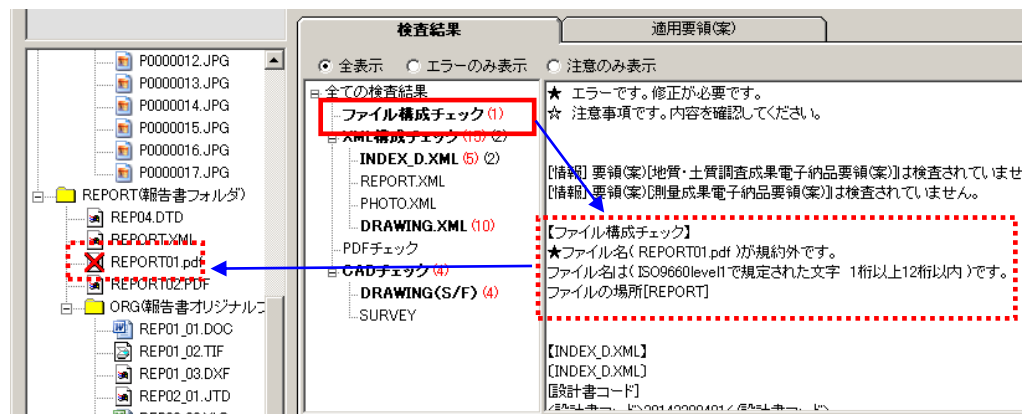


図 4-12

2)XML 構成チェック

XML 構成チェックでは、各 XML ファイル（管理ファイル）の記載内容についてのエラー、注意が表示されます。

例：

- 全角数字、半角カタカナ等の禁則文字を使っている場合
- 日付の表記形式に誤りがある場合

「XML 構成チェック」を選択すると、全ての XML に含まれるエラー、注意が表示されます。また、各 XML 名称（例：DRAWING.XML）を選択した場合、選択した XML に含まれるエラー、注意が表示されます。

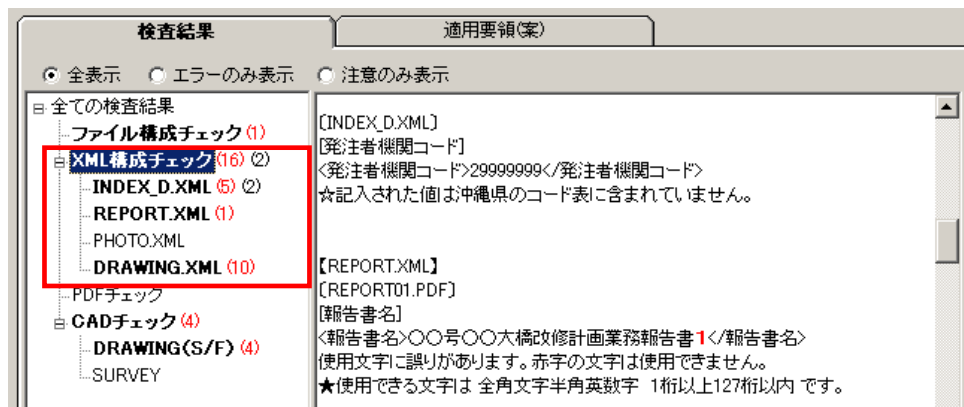


図 4-13

XML 構成チェック結果の見方：

例：REPORT.XML で禁則文字を使用していた場合の検査結果

(1) :【REPORT.XML】
(2) :[REPORT01.PDF]
(3) :[報告書名]
(4) :<報告書名>〇〇号〇〇大橋改修計画業務報告書1</報告書名>
(5) :★使用文字に誤りがあります。赤字の文字は使用できません。 使用できる文字は 全角文字半角英数字 1桁以上127桁以内 です。

(1)——対象の XML を表します。

(2)——XML に登録されているファイル名を表します。

ただし、業務管理ファイル（INDEX_D.XML）あるいは工事管理ファイル（INDEX_C.XML）の場合、ファイルの登録がありませんので、管理ファイル名が再度表示されます。

(3)——XML 内の要素名を表します。

(4)——XML 内で、実際に記入されている内容を表示します。

(5)——エラーの内容および記入規則を表示します。

3) 「PDF チェック」

報告書 PDF ファイルの内容について検査した結果が表示されます。

このチェックは、業務成果品の REPORT フォルダ（報告書フォルダ）直下の報告書 PDF ファイルに対してのみ行われます。その他のフォルダにある PDF については、チェックされません。

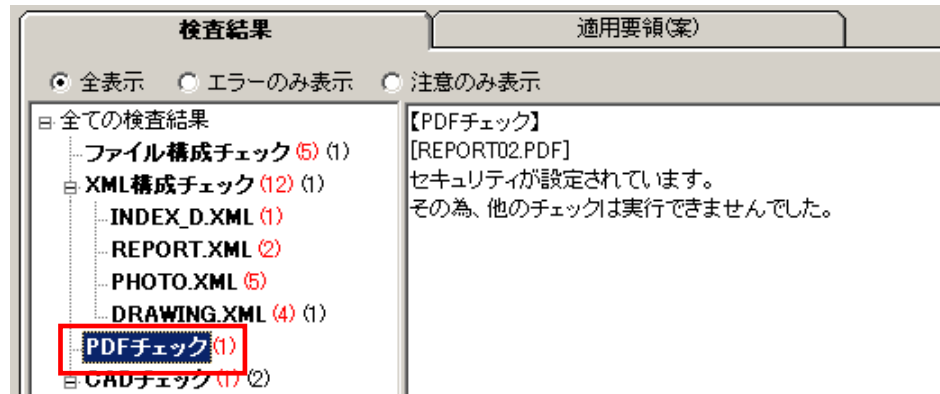


図 4-14

PDF チェック結果の見方：

例：REPORT02.PDF という図面をチェックした場合の検査結果

- | |
|---|
| <p>(1) : [REPORT02.PDF]</p> <p>(2) : セキュリティが設定されています。</p> <p>その為、他のチェックは実行できませんでした。</p> |
|---|

- (1)——ファイル名を表します。
- (2)——エラーの内容を表示します。

4) 「CAD チェック」

CAD ファイルの検査結果が表示されます。

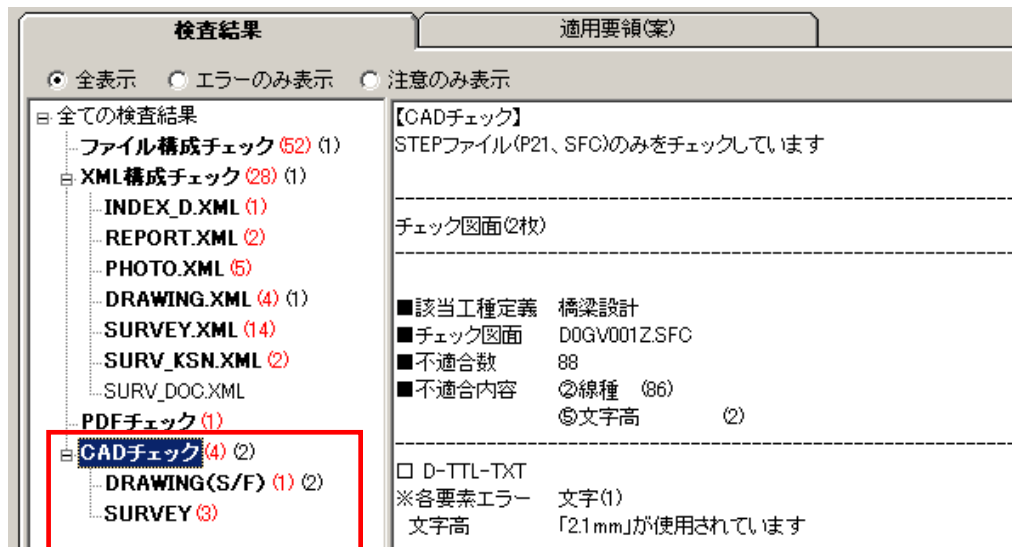


図 4-15

DRAWING (S/F) の CAD チェック結果の見方：

例：D0GV001Z.SFC という図面をチェックした場合の検査結果

(1) : ■該当工種定義	橋梁設計
(2) : ■チェック図面	D0GV001Z.SFC
(3) : ■不適合数	88
(4) : ■不適合内容	②線種 (86) ⑤文字高 (2)
(5) : □D-TTL-TXT	
(6) : ※各要素エラー	文字(1)
(7) : 文字高	「2.1mm」が使用されています

- (1)——該当工種を表します。
- (2)——ファイル名を表します。
- (3)——ファイル全体で、エラーまたは注意となった不適合数を表します。
- (4)——不適合内容と、不適合となった要素数の内訳を表示します。
- (5)——チェック対象のレイヤ名を表示します。
- (6)——該当レイヤで、エラーまたは注意の種類と要素数を表示します。
- (7)——エラーの内容を表示します。

朱書き機能を使用している場合は、DRAWING (S/F) 検査結果の最後に、朱書きしたファイルの格納先が記述されます。

❖ 参照：朱書き機能の詳細については【5.2(2)CAD チェックの環境設定】を参照して下さい。

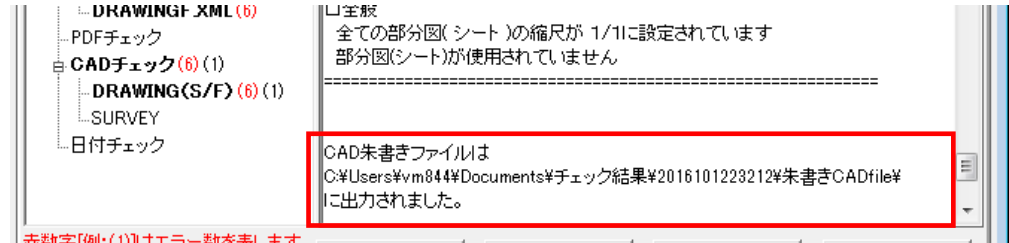


図 4-16



CAD の検査結果に、エラーと注意が両方存在する場合のカウントは、以下のようになります。

ファイル名	チェック結果	エラーカウント	注意カウント
ファイル1	エラーあり、注意あり	1	1
ファイル2	エラーあり、注意なし	1	0
ファイル3	エラーなし、注意あり	0	1
結果出力		2	2

この場合、検査結果の画面上では、次のように出力されます：**CAD チェック (2) (2)**

SURVEY の CAD チェック結果の見方：

例：KJAD1001.P21 という図面をチェックした場合の検査結果

- (1) : ■チェック図面 KJAD1001.P21
 (2) : レイヤ名 [S-SUV-SRVRXXX] は 基準(案)・要領(案)のレイヤ名に適していません

- (1)——ファイル名を表します。
 (2)——エラーの内容を表示します。

※SURVEY の CAD チェックは測量成果電子納品要領（案）「平成 20 年 12 月」以降で検査した時のみ行います。

5) 「日付チェック」

「実ファイルの更新日時と INDEX の工期範囲情報」や「JPG ファイルの EXIF 情報とファイル更新日時」に不整合があるかどうか検査した結果が表示されます。

このチェックは、環境設定画面の日付チェック設定を ON にした場合のみチェックされます。

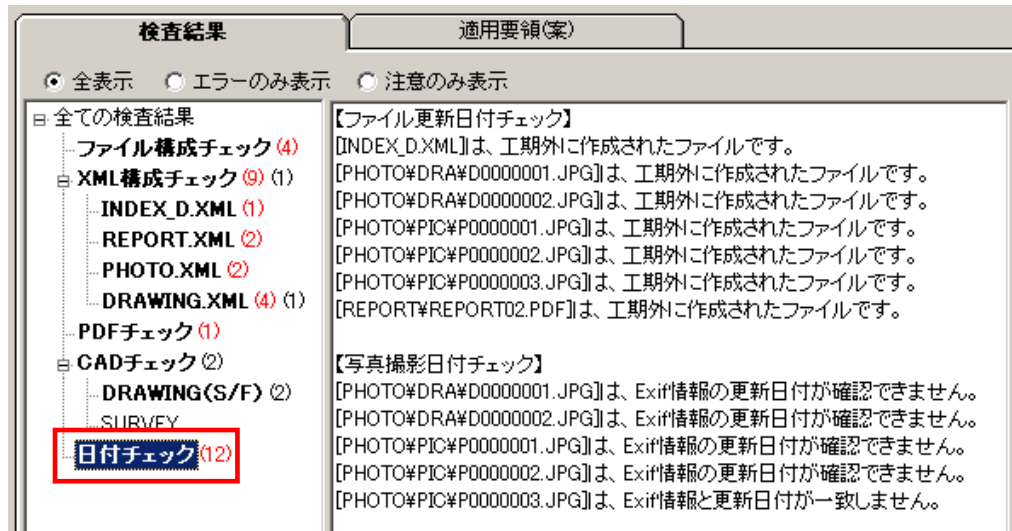


図 4-17

日付チェック結果の見方：

例：P0000001.JPG という写真をチェックした場合の検査結果

(1) : [PHOTO¥PIC¥P0000001.JPG] は、Exif情報と更新日付が一致しません。

(1)——該当するファイルパスと、エラーの内容を表示します。

6)フォルダ毎のファイル数集計

環境設定で「フォルダ毎のファイル集計を出力する」にチェックを付けておくと、検査結果画面最下部にフォルダ毎のファイル数が表示されます。

該当要領（案）で規定されたフォルダ名が表示され、それぞれのフォルダ内の格納ファイル数が集計されます。

フォルダ・ファイルがない場合は、グレーで表示されます。

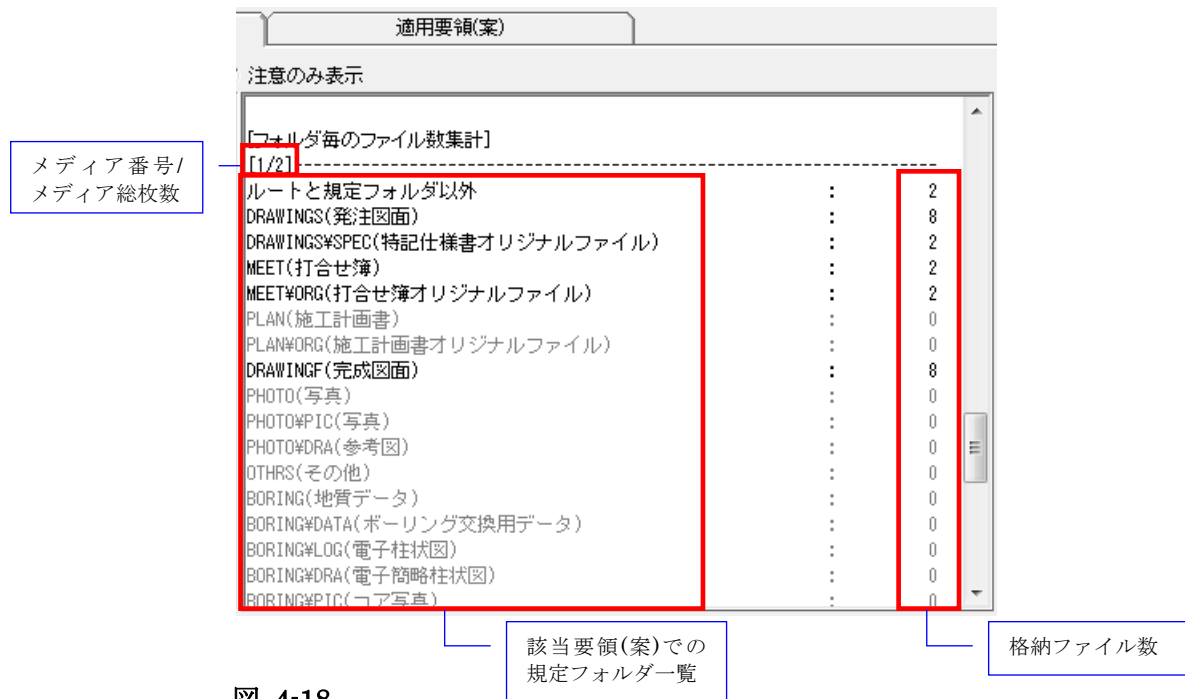


図 4-18



フォルダ毎のファイル集計を出力するには[環境設定]－[オプション設定]タブにある「フォルダ毎のファイル集計を出力する」にチェックをつけてください。

☐ JPEGファイルにXMP付チェックを行う

☒ フォルダ毎のファイル集計を出力する



複数枚成果品の場合、全メディアの総ファイル数合計が、最下部に表示されます。

BORING*OTHR(その他の地質調査資料)	:	0
2枚目 合計	:	6
総ファイル数 合計	:	27

(3) 検査結果の出力（検査結果タブの右下部分）：

1) 検査結果を出力（pdf 帳票形式）

検査結果を帳票形式の PDF で表示する場合、[PDF 出力] をクリックし、メニューから [表示] をクリックします。

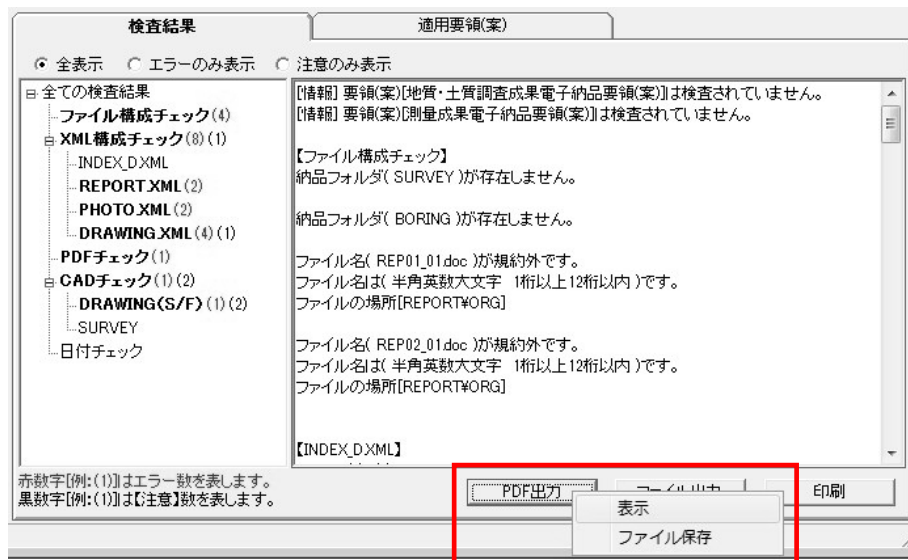


図 4-19

帳票形式の PDF 画面が表示されます。

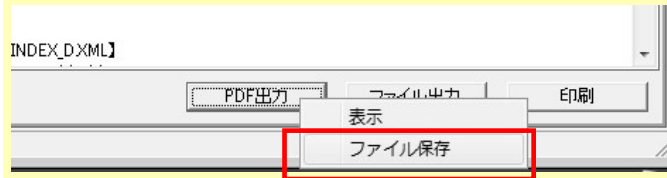


図 4-20

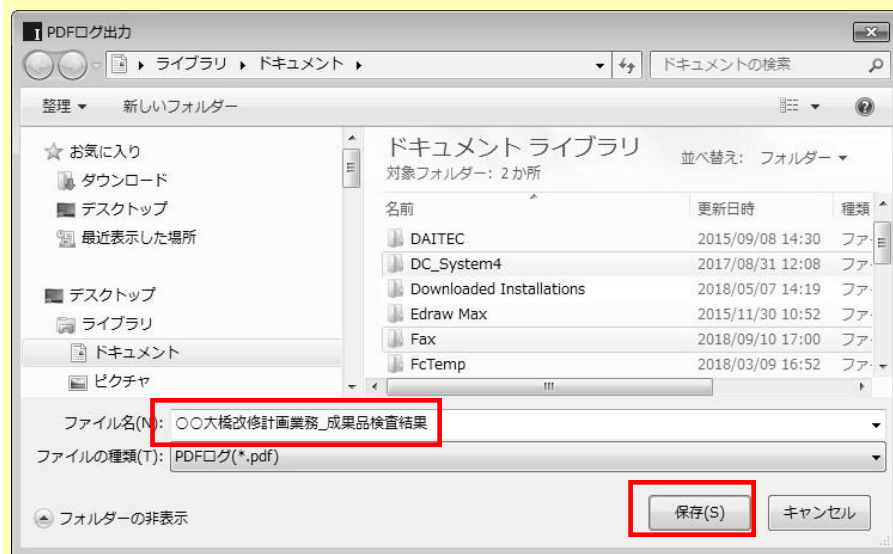
以降の操作は、端末にインストールされている Adobe Reader または Acrobat の操作と同様です。



PDF ファイルの表示ではなく、ファイル保存する場合は[PDF 出力]をクリックし、メニューから[ファイル保存]をクリックして下さい。



PDF ファイルの保存画面が表示されますので、任意のファイル名・保存場所を設定し、[保存]をクリックして下さい。

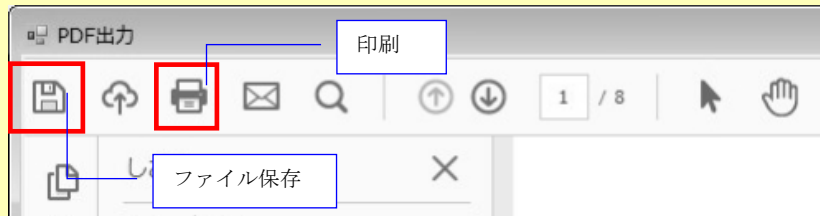


PDF 画面のしおりをクリックすることで、該当の検査結果を表示できます。





Adobe Reader または Acrobat と同様のツールボタンから、ファイル保存・印刷等が行えます。



※操作方法は、お使いの Adobe 製品のバージョンにより異なります。



【位置情報】ページでは、検査時の位置情報表示画面で[閉じる]をクリックしたときの画面状態がそのまま印刷出力されます。



2) 検査結果を出力 (txt 形式、rtf 形式)

検査結果をファイルに出力する場合、[ファイル出力] をクリックします。

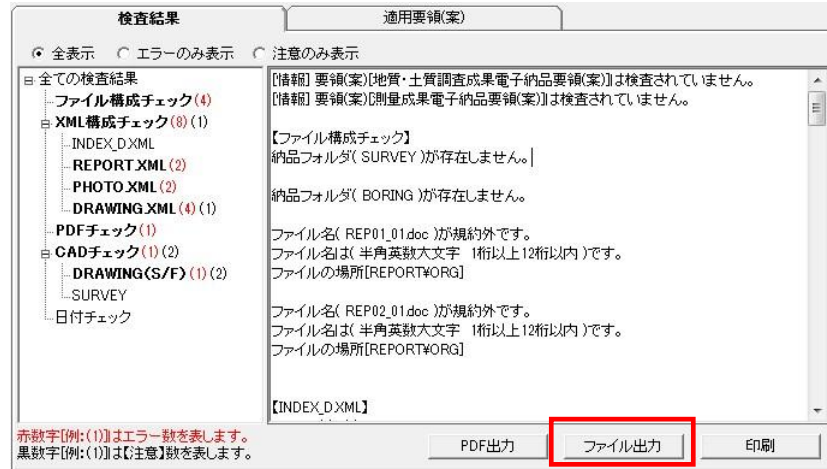


図 4-21

「エラーログ出力」画面が表示されますので、保存場所及びファイル名を入力し [保存] をクリックすると、指定した場所に検査結果ファイルが出力されます。

出力できる形式は、テキスト形式 (*.txt) とリッチテキスト形式 (*.rtf) です。リッチテキスト形式で出力された場合は、太字や色付き文字がそのまま出力できます。

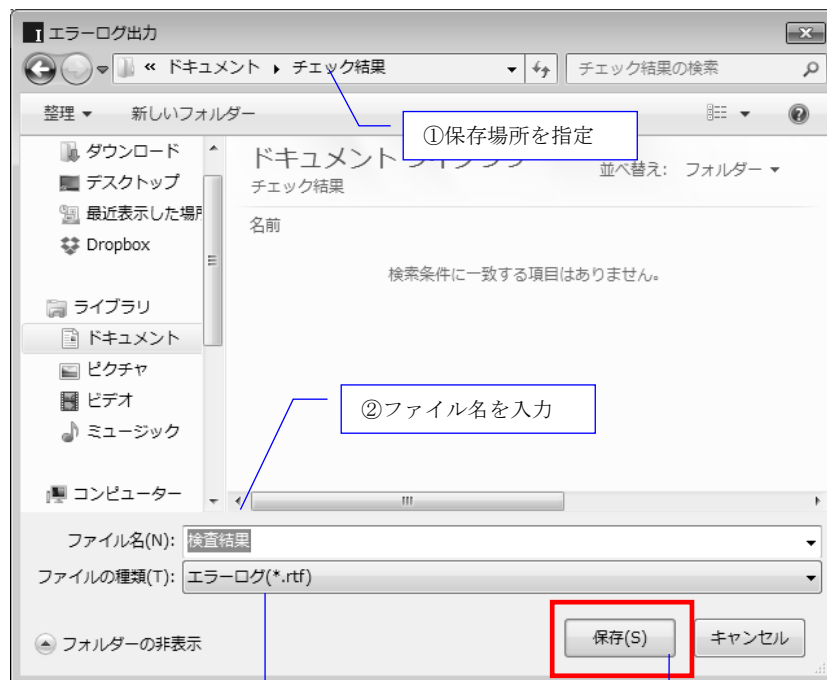


図 4-22

(4) 検査結果のプレビュー

[印刷] をクリックし、メニューから [印刷プレビュー] をクリックすると、プレビュー画面が表示され、画面で印刷状態を確認することができます。プレビュー画面から印刷することもできます。

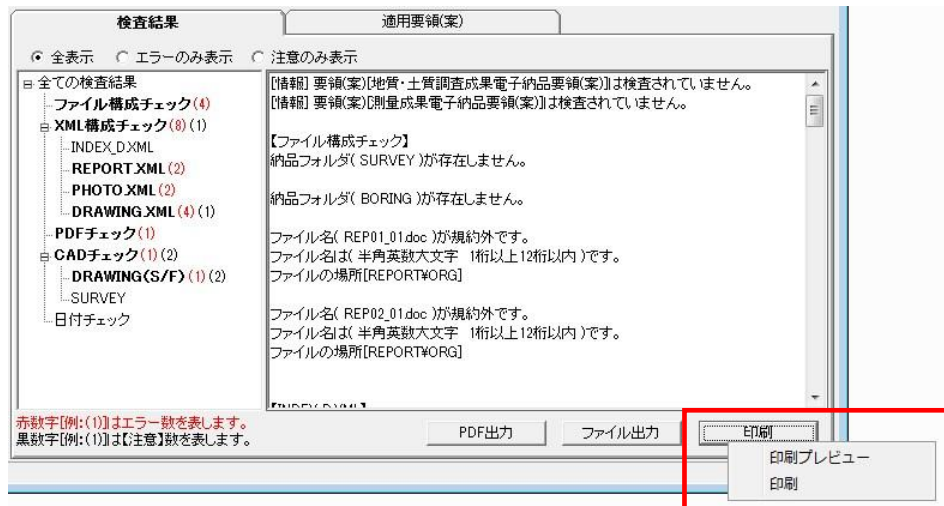


図 4-23

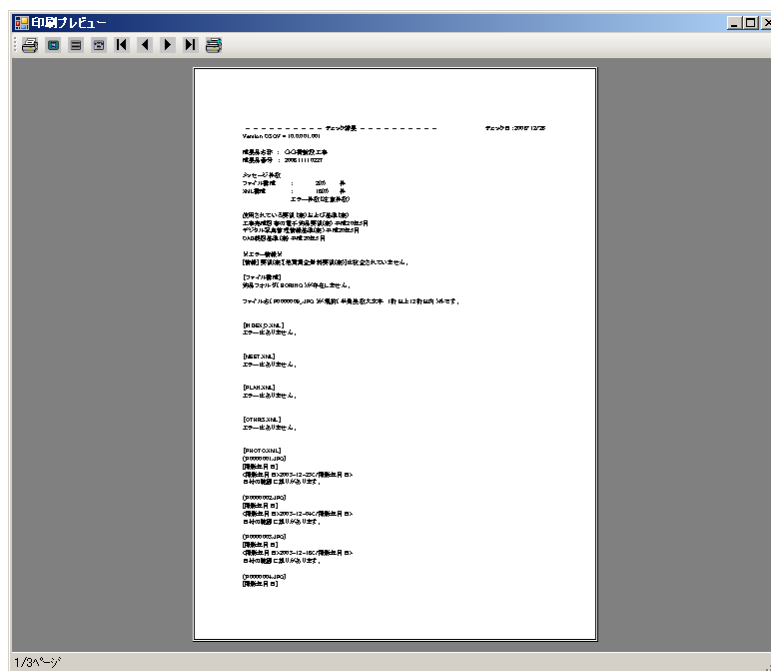


図 4-24

【ボタンの説明】

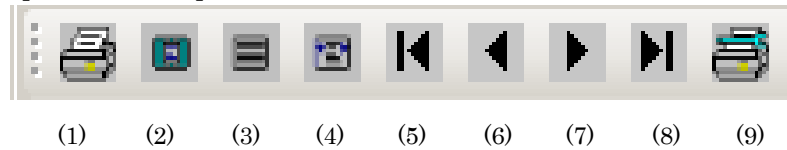


図 4-25

- (1) 印刷します——印刷処理を開始します
- (2) 全体表示をします——ページ全体が表示されるように画面調整します
- (3) 100%表示します——プレビュー画面いっぱいに拡大表示します
- (4) 横幅基準にて表示します——ウィンドウの横幅に合わせて画面調整します
- (5) 最初のページに移動します——1 枚目を表示します
- (6) 1 ページ戻ります——前ページを表示します
- (7) 1 ページ進みます——次ページを表示します
- (8) 最終ページに移動します——最終ページを表示します
- (9) 印刷設定をします——印刷設定画面を表示します

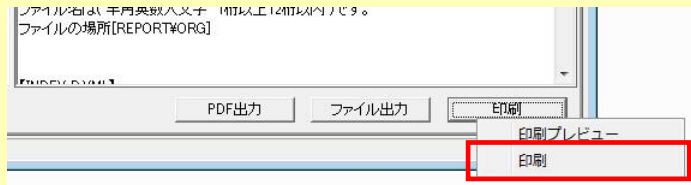
! 注意

ファイル出力及び印刷は、検査結果分類ツリーで選択されている内容がそのまま出力されます。全てのエラー内容を出力する場合は、必ず「全ての検査結果」を選択してから行って下さい。

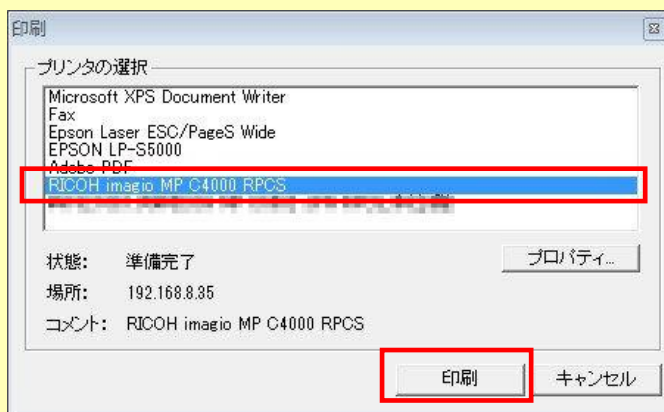
また、検索結果タブにある「エラーのみ表示」「注意のみ表示」を選択することで、エラーのみまたは注意のみを出力することができます。エラーと注意の両方を表示する場合は「全表示」を選択して下さい。



「印刷」をクリックし、メニューから「印刷」をクリックすると、プリンタ設定画面が表示されます。



プリンタを選択し、「印刷」をクリックすると、印刷が実行されます。



検査結果の詳細内容に表示できる件数について

検査結果の詳細内容に表示できるエラーの件数は 20000 件までです。

環境設定の「検査を中断するエラー件数」で「制限しない」と設定しても、検査結果の表示やパソコンの処理能力を考慮し、エラー件数が 20000 件になると自動的に検査を中断します。ただし、20000 件までのエラー結果は詳細内容に表示されます。

4.2.2 複数成果種類を読み込んだ場合（国交省平成 22 年 9 月以降工事要領）

国土交通省平成 22 年 9 月以降工事要領で複数の成果種類を読み込んだ場合は、成果種類タブが表示されます。タブを選択すると、検査結果が切り替わって表示されます。

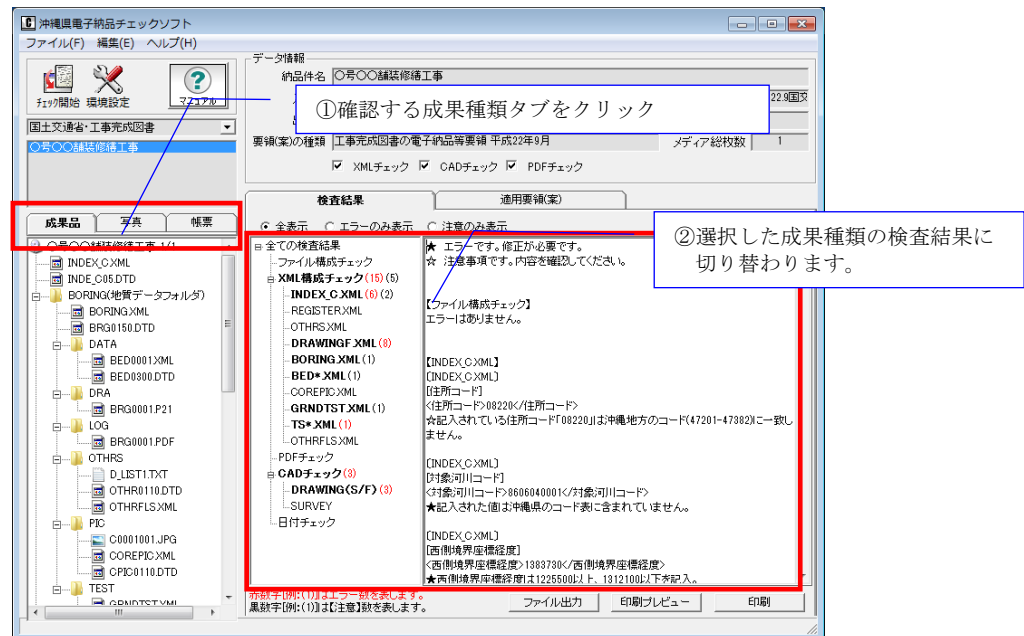


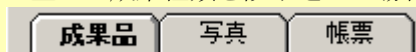
図 4-26

検査結果の見方については【4.2 検査の結果】と同じになります。

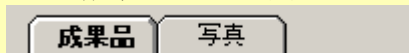


読込を行った成果種類のタブのみ表示されます。

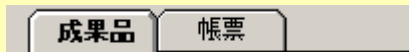
- ・全ての成果種類を読み込んだ場合



- ・電子成果品と工事写真



- ・電子成果品と工事帳票



電子成果品のみを読み込んだ場合は、これらのタブは表示されません。



注意

「ファイル出力」「印刷プレビュー」「印刷」は選択した成果種類タブに対して有効となります。すべての成果種類に対して同時にファイル出力、印刷プレビュー、および印刷を行うことはできません。

4.2.3 適用要領（案）情報

検査に適用した各要領（案）・基準（案）及び発表年月が表示されます。

検査結果		適用要領(案)
要領(案)・基準(案)	発表年月	
土木設計業務等の電子納品要領(案)	平成20年5月	
デジタル写真管理情報基準(案)	平成20年5月	
CAD製図基準(案)[平成20年7月港湾局含む]	平成20年5月	

図 4-27

4.3 検査済みの成果品データ再表示

検査済みの成果品データを再度読み込み、確認する方法に関して、説明します。

検査済みの成果品データは、沖縄県電子納品チェックソフトを終了しない限り、再度確認、閲覧することができます。

操作手順

1. 電子納品の種類の [▼] をクリックし、リストから電子納品の種類を選択します。

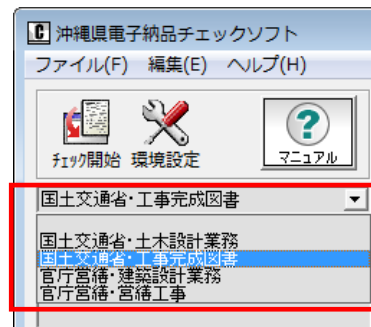


図 4-28

2. 選択された電子納品の種類に成果品のデータがあれば、リスト一覧に表示されます。
目的の納品物名称を選択すると、成果品データ及び検査結果が表示されます。

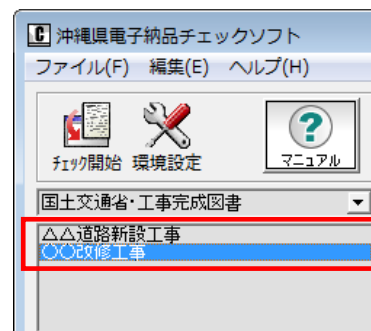


図 4-29



リストに表示される成果品の名称は、自動でソート（並び替え）されます。

4.4 検査操作ログの表示

沖縄県電子納品チェックソフトの実行結果の記録ファイルであるログファイルについて、説明します。

検査において、全ての操作過程がログファイルに記述されます。

ログファイルは、全体検査ログと成果品毎の検査ログに分けられます。

- 全体検査ログ——同日に検査した全ての電子成果品データを記録したもの
- 成果品毎の検査ログ——最後に検査した電子成果品データを記録したもの

ログファイルを表示するには、メニューの [編集] ⇒ [検査操作ログ] ⇒ [全体検査ログ] あるいは [成果品毎検査ログ] を選択します。

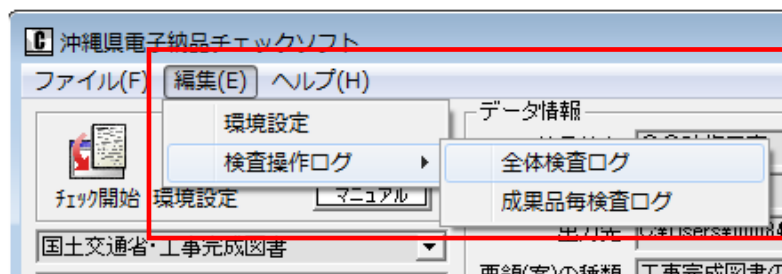


図 4-30

沖縄県電子納品チェックソフトがインストールされたフォルダの配下にある LOG というフォルダの配下へ日付順に出力されます。

例：C:\Program Files (x86)\yamaichi\CS_CHECK_OKW\LOG\CSGV_200907.LOG

同じ日付のログファイルは追加書きで作成されます。

5.環境設定

前章までで、一般的な設定に基づいた検査方法を説明しました。電子納品チェックソフトの環境設定を行うことによって、より効率的に成果品の検査を行うことができます。環境設定は、電子成果品チェック入力元、出力先の設定、検査を中断するエラー件数、検査オプション設定などを行います。

「環境設定」の画面を表示するには、メイン画面メニューの[編集]⇒[環境設定]を選択、または[環境設定]のアイコンをクリックします。

環境設定には、「動作設定」、「オプション設定」「ファイルサイズ」の3つのタブがあります。

※建設技術センターでは図 5-1 の設定（初期設定）でチェックしています。

また、✓の入っていない項目についても各自の判断で☑にしても構いません。

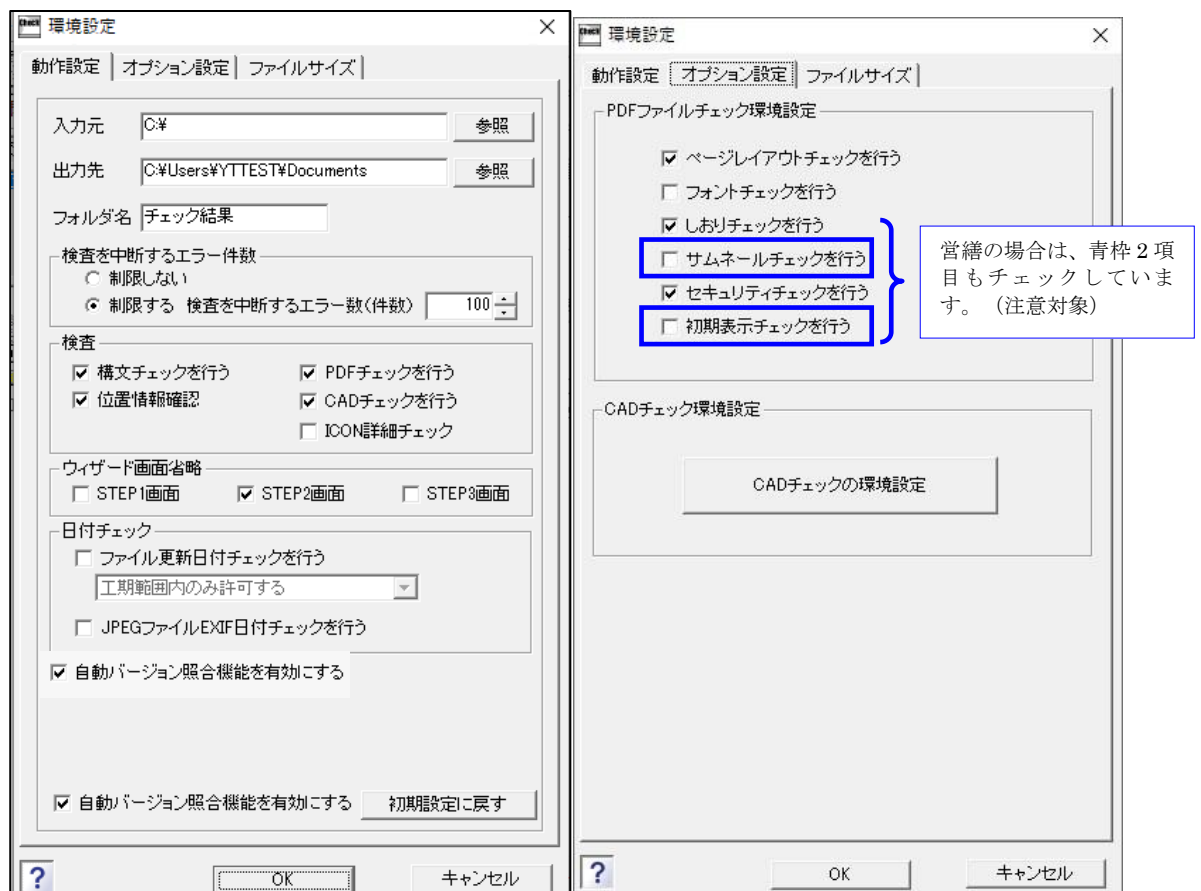
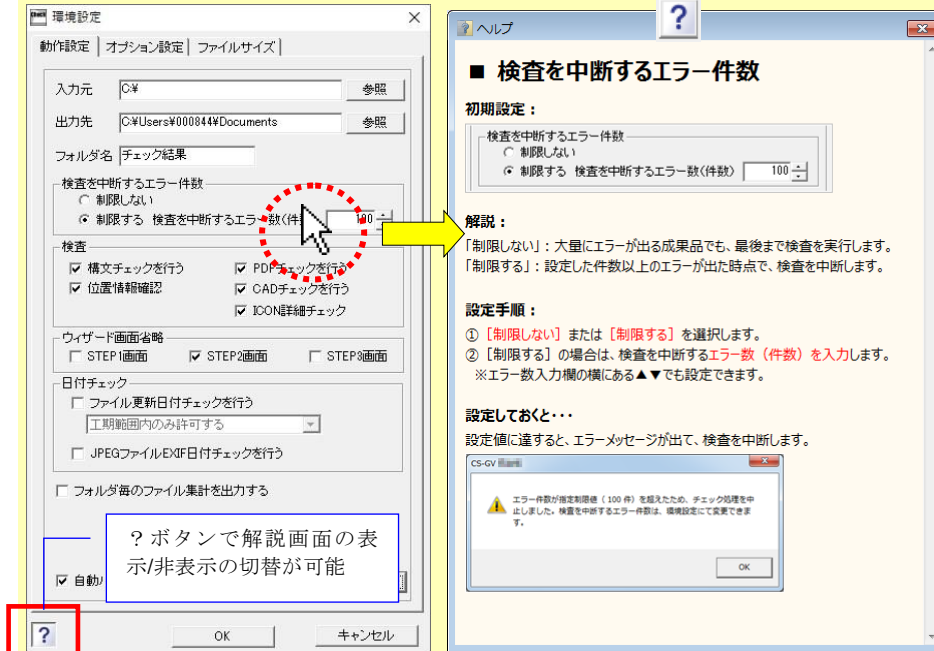


図 5-1



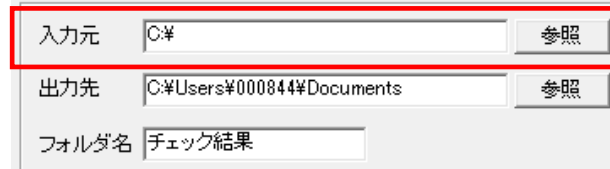
各設定項目にマウскарソルを置くと、別ウインドウで解説画面が表示されます。

※解説画面の表示/非表示は、環境設定画面左下の〔 ？ 〕ボタンで切替可能です。



5.1 動作設定

(1) 入力元



入力元	C:	参照
出力先	C:\Users\000844\Documents	参照
フォルダ名	チェック結果	

検査を行う電子納品ファイルが存在するドライブ・フォルダを指定します。

☛初期設定 電子納品チェックソフトがインストールされているドライブが指定されます。

設定方法：

[参照] をクリックすると、「入力元の指定」画面が表示されますので、電子成果品データが格納されているドライブ（例：CD ドライブ）やフォルダを指定し、[OK] をクリックすることで、パスが設定されます。

※ 入力元に、直接パスを入力することもできます。

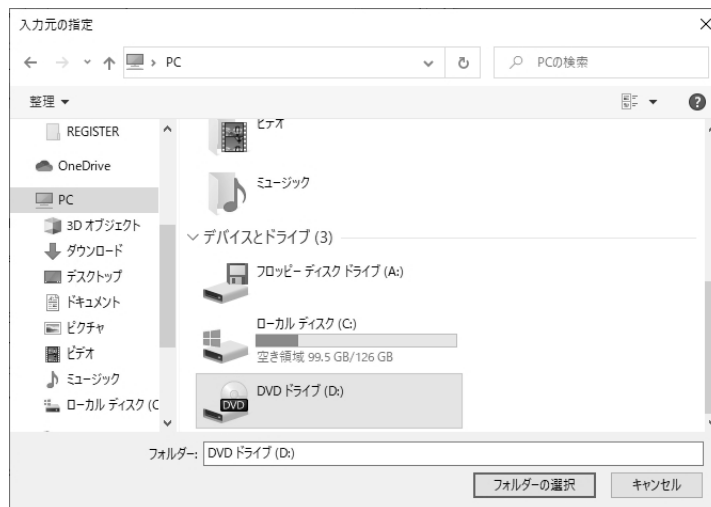


図 5-2

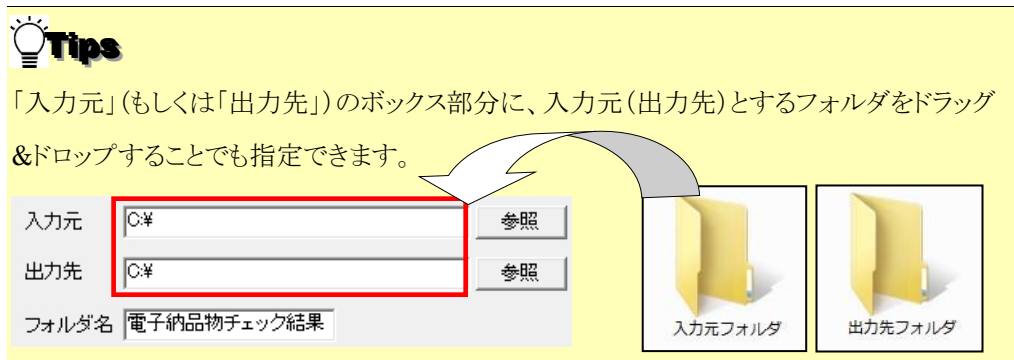
(2) 出力先

検査時に必要なファイルの出力先のドライブ・フォルダを指定します。

☛初期設定 “My Documents” が指定されます。

設定方法：

直接入力元のパスを入力するか、[参照] をクリックすると、「出力先指定」の画面が表示されますので、電子成果物データを一時的にコピーするドライブやフォルダを指定し、[OK] をクリックすると、ドライブあるいはフォルダのパスが設定されます。

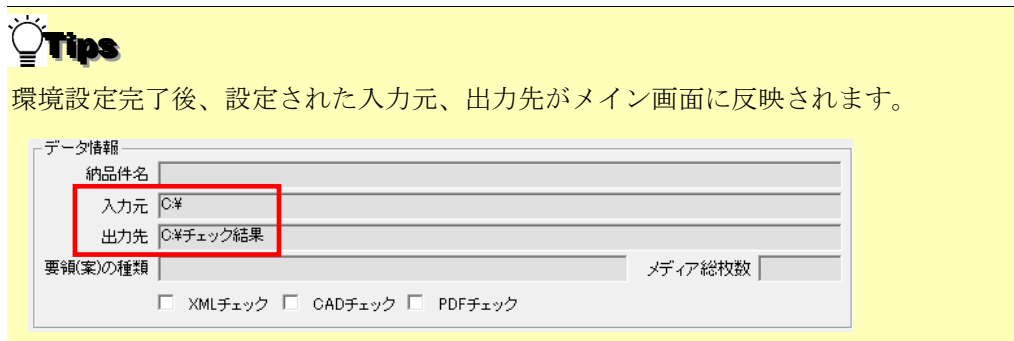


(3) フォルダ名

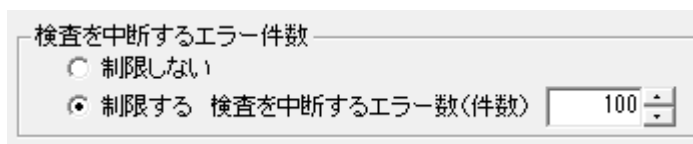
「出力先」に指定されたパス配下に、作成するフォルダの名前を入力します。入力されたフォルダ名でフォルダが作成され、このフォルダの配下に検査時に必要なファイルが格納されます。

☞初期設定 「チェック結果」フォルダが作成されます。

出力先及びフォルダの作成は、チェック時に、一時的にファイルをコピーするための格納場所であり、ソフト終了すると、コピーされたファイルはすべて削除されます。



(4) 検査を中断するエラー件数



エラーの件数が多い場合、検査を中断することができます。

「制限しない」あるいは「制限する」を選択でき、「制限する」を選択した場合、エラーの件数を 20000 件まで設定することができます。

☞初期設定 「制限する」で、エラー件数は 100 と設定されます。

(5) 検査

検査に関する設定を行います。

検査	
☒ 構文チェックを行う	☒ PDFチェックを行う
☒ 位置情報確認	☒ CADチェックを行う
	☐ ICON詳細チェック

● 構文チェックを行う：

電子成果品検査を行うかどうかを設定します。

☞ 初期設定 ON

● 位置情報確認：

チェックを入れると、検査時に位置情報確認画面が表示され、座標情報が正しいか地図上で確認できます。また、PDF 帳票に位置情報ページが出力されます。

❖ 参照：検査する内容などは、【4.1 検査方法】を参照して下さい。

☞ 初期設定 ON

※本機能はインターネット接続が必須です。

● PDF チェックを行う：

設計業務の報告書 (REPORT) フォルダに含まれる報告書 PDF が電子納品要領 (案) の規定通りに作成されているかどうかをチェックします。

❖ 参照：チェックする内容などは、【5.2 オプション設定】を参照して下さい。

☞ 初期設定 ON

● CAD チェックを行う：

図面フォルダ（DRAWING、DRAWINGS、DRAWINGF）に格納される CAD ファイル（P21、SFC）が CAD 製図基準の規定通りに作成されているかどうかをチェックします。

❖ 参照：チェックする内容は、【5.2 オプション設定】を参照して下さい。

☞初期設定 ON

協議によって決められたレイヤなど含む CAD ファイルのチェックはできません。

● ICON 詳細チェック：

ICON フォルダについて、要領・手引きの規定どおりに作成されているかを確認します。

☞初期設定 OFF

(6) ウィザード画面省略

検査時の STEP1～3 画面の表示に関する設定を行います。

ウィザード画面省略		
☐ STEP1画面	☒ STEP2画面	☐ STEP3画面

■ STEP1 画面：

チェックを入れると、検査時に、STEP1 画面を省略できます。

STEP1 画面を省略する場合、あわせて動作設定タブの入力元設定で、常に参照する入力元を指定して下さい。（例：DVD ドライブ）

☞初期設定 OFF

■ STEP2 画面：

チェックを入れると、検査時に、STEP2 画面を省略できます。

☞初期設定 ON

■ STEP3 画面：

チェックを入れると、検査時に、STEP3 画面を省略できます。

☞初期設定 OFF



STEP1～3 画面省略の活用例：

あらかじめ DVD ドライブ（D ドライブ等）を入力元に設定し、STEP1～STEP3 画面を省略する設定にしておくと、DVD ドライブに成果品媒体をセットし、〔チェック開始〕ボタンを押すだけで、途中のボタン操作無しに検査処理を実行できます。

！ 注意

- ・ [チェック開始] を押した後の省庁選択画面は省略されません
- ・ 環境設定画面の「位置情報確認」がチェック ON の場合、検査途中で位置情報確認画面が表示されます。
- ・ 「入力元に成果品が存在しなかった」「検査要領を自動判別できなかった」等の場合、STEP1～STEP3 画面が表示されますので、手動で設定を行って下さい。

(7) 日付チェック

検査に関する設定を行います。

■ ファイル更新日付チェックを行う：

実ファイルの更新日時が、INDEX ファイルの工期範囲内かどうかをチェックします。

(例：INDEX_C.XML の工期開始日・終了日が「2015-05-01」～「2015-07-29」の場合、各ファイルの更新日時がその日付範囲内かどうかをチェックします。)

ファイルの更新日時が、INDEX ファイルの工期範囲外の場合、エラーを出します。

☞ 初期設定 OFF

💡 Tips

許可する更新日付の範囲は、3 種類から選択できます。

※カッコ内は、上記例の場合、許可する日付範囲です。

- ① 「工期範囲内のみ許可する」 (2015-05-01～2015-07-29 を許可)
- ② 「工期範囲内と工期後を許可する」 (2015-05-01 以降を許可)
- ③ 「工期範囲内と工期前を許可する」 (2015-07-29 以前を許可)

■ JPEG ファイル EXIF 日付チェックを行う：

成果品内の JPG ファイルについて、ファイル更新日時と、Exif 情報 (JPG ファイル内部で持つ撮影年月日情報) が一致するかをチェックします。

一致しない場合、エラーを出します。また、Exif 情報が存在しない場合も、エラーを出します。

☞初期設定 OFF

(8) 「フォルダ毎のファイル集計を出力する」

☐ フォルダ毎のファイル集計を出力する

検査結果の最下部に該当要領（案）で規定されたフォルダ毎に格納されているファイル数が集計されたリストを表示します。

☞初期設定 OFF

(9) 「自動バージョン照合機能を有効にする」

☒ 自動バージョン照合機能を有効にする 初期設定に戻す

電子納品チェックソフトを起動する度に、自動バージョン照合を行うか否かを設定します。

☞初期設定 ON

(10) 初期設定に戻す

☒ 自動バージョン照合機能を有効にする 初期設定に戻す

「初期設定に戻す」をクリックすることによって、各設定は初期状態の設定に戻ります。

5.2 オプション設定

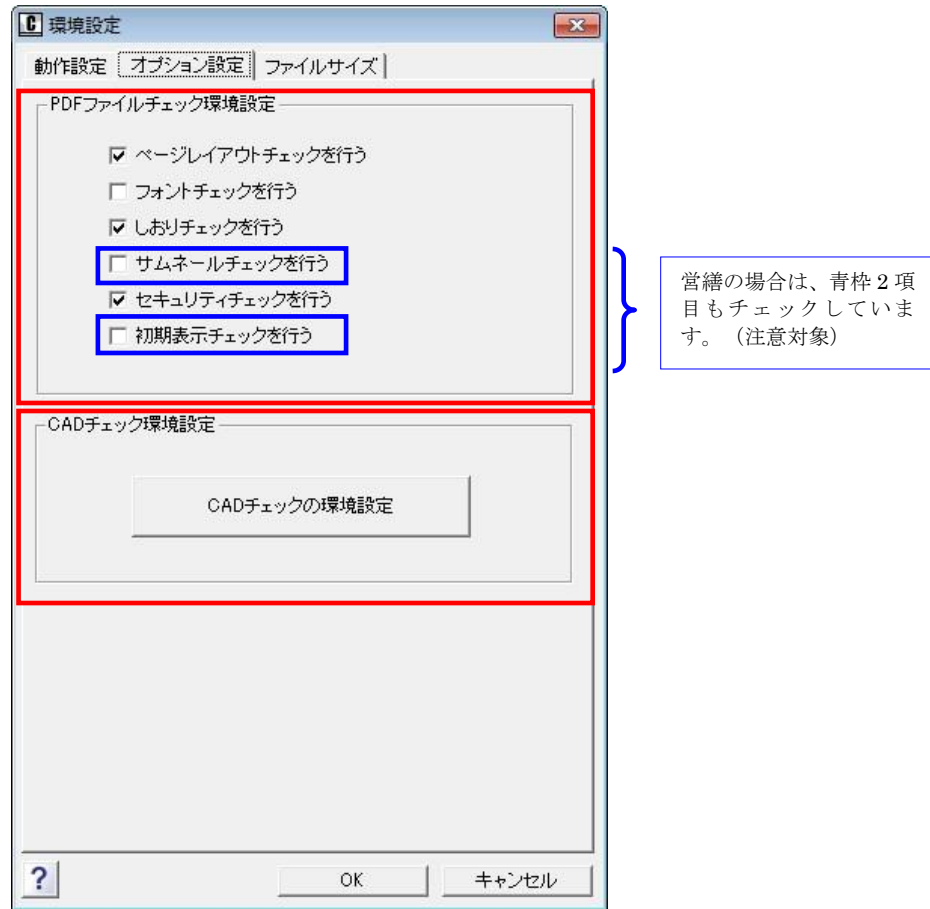


図 5-3

(1)PDF ファイルチェックの環境設定

以下各項目をチェックするかどうかを選択します。

● ページレイアウトチェックを行う

ページサイズ A4 縦であるかを検査します。

🔍デフォルト ON

● フォントチェックを行う

フォントが埋め込まれているかを検査します。

🔍デフォルト OFF

● しおりチェックを行う

しおりが作成されているかを検査します。

🔍デフォルト ON

● サムネールチェックを行う

サムネールが作成されているかを検査します。

🔍デフォルト OFF

● セキュリティチェックを行う

セキュリティされているかを検査します。

🔍デフォルト ON

● 初期表示チェックを行う

1 ページ目、100%で表示されているかを検査します。

🔍デフォルト OFF

(2) CAD チェックの環境設定

「CAD チェックの環境設定」をクリックすると、「環境設定」画面が表示されます。

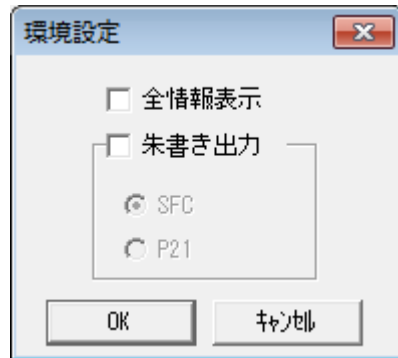


図 5-4

●全情報表示

「全情報表示」に設定して電子納品チェックを行うと、CAD チェック結果において、エラー図面ファイルの詳細情報及びチェック設定の内容が表示されます。

🔊デフォルト OFF

●朱書き出力

「朱書き出力」に設定して電子納品チェックを行うと、エラーのある図面に朱書きを行った図面を出力します。

朱書きファイルを出力する際の形式は「SFC」「P21」のいずれかから選択します。

🔊デフォルト OFF

朱書きファイルは成果品の出力先フォルダと同じ階層に「〇〇〇※朱書き CADfile」フォルダを作成し、「marked 対象図面ファイル名.sfc」の名称で作成されます。

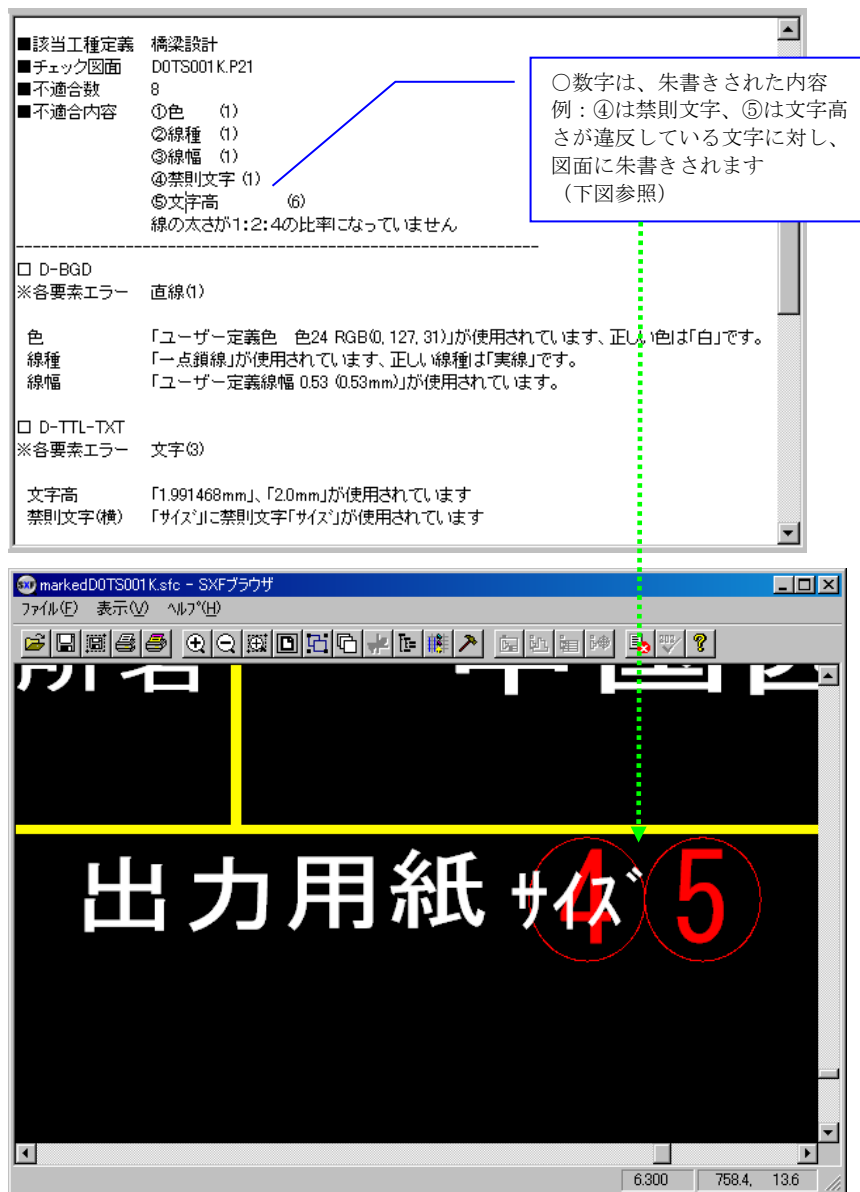
(※〇〇〇は工事番号もしくは、設計書コード)

検査結果表示の最下部に以下例のように、出力先が記載されます。

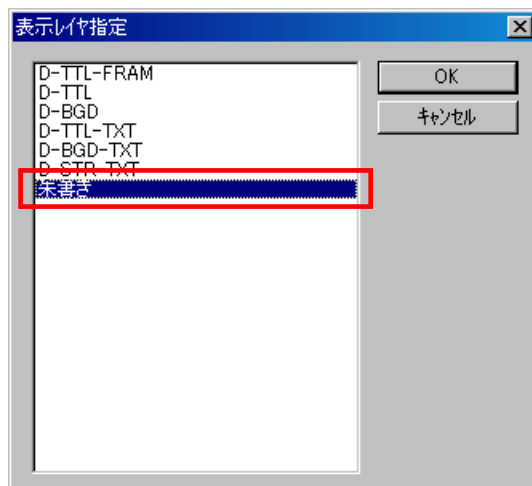
CAD 朱書きファイルは

C:\Users\user001\Documents\チェック結果\935071059\朱書き CADfile\に出力されました。

検査結果に朱書きの内容が表示されます。



朱書きの内容は、「朱書きレイヤ」に記載されます。



朱書き番号とエラー内容の凡例：

朱書きは以下の 5 種類のエラーが検出された際に、自動的にを行います。

朱書き番号	エラー内容	説明
①	色	各レイヤに規定されている色と違う場合
②	線種	各レイヤに規定されている線種と違う場合
③	線幅	要領（案）に規定されている線幅と違う場合
④	禁則文字	禁則文字が使用されている場合
⑤	文字高	要領（案）に規定されている文字高さとは違う場合

5.3 ファイルサイズ設定

ファイルサイズの検査機能は、成果品に含まれる全てのファイルサイズの検査、あるいはフォルダ毎のファイルサイズの設定が行えます。



！ 注意

- ・ファイルサイズ検査は、成果品ルート（INDEX_C.XML、INDEX_D.XMLなどの管理ファイルと同じ階層）に格納されているファイルのサイズ検査はできません。
- ・平成 18 年 3 月の工事完成図書機械設備工事編の要領（案）では、一部フォルダ構成が変更されました、本機能は平成 18 年 3 月要領（案）のフォルダ構成に準拠しており、平成 16 年 3 月の要領（案）の成果品の場合、「K_DRAW」フォルダのファイルサイズチェックができませんので、ご注意ください。

(1) 全ファイルチェック

全ファイルサイズのチェックを選択すると、成果品に含まれる全てのファイルサイズを検査できます。この場合、「フォルダ毎にチェック」は無効になります。

検査するファイルは、各 XML に登録されているファイル、XML に登録されていないファイルも検査できます、例えば、DRAWINGS¥SPEC フォルダに格納されている特記仕様書ファイルや図面フォルダ（DRAWING（S/F）に格納されているラスターファイル、あるいはユーザーが任意にフォルダに格納された要領（案）の規定外のファイル等です。XML に登録されないファイルについては、「XML 構成」の検査結果に、ファイルが格納されているフォルダパスが表示され、容量オーバーのファイルを容易に探し出せます。

[S.J01.TIF]

【注意】ファイル(BORING¥TEST¥BRG0001¥TS001001¥S.J01.TIF)の最大サイズを超えています。
最大サイズは(0.04)MB以下です。

入力できる値は、最小値 0.01（MB）～最大値 649.00（MB）まで設定可能です。但し、単位は MB となりますので、KB の場合は、小数点にて入力する必要があります、例えば、下図のように、500KB の場合は、「0.5」と入力します。

☒ 全ファイルチェック
ファイルの最大サイズ(MB)

UpDown コントロールの機能が±1 でしか UpDown できないため、小数点以下は手入力が必要となります。

☒ 全ファイルチェック
ファイルの最大サイズ(MB)

☐ フォルダ毎にチェック

設定されている「ファイルの最大サイズ（MB）」は、Step2 の「ファイルの最大サイズ（MB）」に反映されます。

検査条件を指定します

Step-2 検査実行条件を指定します。

報告書ファイルの最大サイズ(MB)

☒ PDFチェック ☒ CADチェック

(2) フォルダ毎にチェック

沖縄県電子納品チェックソフトは、国土交通省〔一般土木・電気通信設備・機械設備工事〕、官庁営繕の要領（案）に対応しています。それぞれの要領（案）のフォルダ構成は、共通のものと独自フォルダ（オリジナルフォルダ）がありますので、環境設定では、検査する共通フォルダとオリジナルフォルダの選択、設定を行う必要があります。

例えば、工事完成図書・電気通信設備編の場合、共通フォルダから **MEET**、**PLAN** 等を選択し、独自のフォルダ **FACILITY** を選択することで、電気通信設備のフォルダ検査ができるようになります。

● フォルダ毎にチェック

共通フォルダ

☒ REPORT(PDF)	10	☐ PHOTO	1
☐ REPORT(ORG)	1	☐ MEET	1
☐ DRAWING(S/F)	1	☐ PLAN	1
☐ BORING	1	☐ OTHERS	1
☐ SURVEY	1	☐ REGISTER	1
☐ OPENREP	10		

電気通信設備オリジナルフォルダ

☐ FACILITY	1
-----------------------------------	---

機械設備工事オリジナルフォルダ

☐ K_BOOK	1	☐ K_LDR	1
---------------------------------	---	--------------------------------	---

官庁営繕オリジナルフォルダ

☐ SCHEDULE	1	☐ INSPECT	1
☐ MATERIAL	1	☐ SALVAGE	1
☐ PROCESS	1	☐ MAINT	1

それぞれのフォルダのサイズ設定は、独立しており、異なった値でも問題ありません、設定された値を上限サイズとして、検査が行われます。

検査しないフォルダは、チェックボックスを **OFF** にします。

入力できる値については、全頁の「(1)全ファイルチェック」を参照して下さい。

また、全てのファイルサイズを検査しない場合は、各フォルダのチェックボックスを **OFF** にすることで、ファイルサイズの検査は行いません。

☞デフォルト ファイルサイズ検査の初期設定は、**REPORT (PDF)** ファイルの検査のみ **ON**、サイズは **10MB** となります。

設定されている各フォルダのサイズの内、REPORT (PDF) のみが Step2 の「ファイルの最大サイズ (MB)」に反映されます。

また、Step2 では、このサイズを任意変更でき、変更されたサイズで、優先に検査を行います。

共通フォルダ

☒ REPORT(PDF)	10	☐ PHOTO	1
☐ REPORT(ORG)	1	☐ MEET	1
☐ DRAWING(S/F)	1	☐ PLAN	1
☐ BORING	1	☐ OTHERS	1
☐ SURVEY	1	☐ REGISTER	1
☐ OPENREP	10		



検査条件を指定します

Step-2 検査実行条件を指定します。

報告書ファイルの最大サイズ(MB)

☒ PDFチェック ☒ CADチェック

6.自動バージョン照合機能

沖縄県電子納品チェックソフトは、常に最新バージョンのソフトが使用できるように、現在インストールされているバージョンが最新であるかどうか、インターネットを通じて、自動的にバージョンの照合を行います。

バージョン照合機能を使用するには、常時インターネットを接続している環境が必要です。

6.1 バージョン自動照合

(1) 最新バージョンを使用している場合

バージョンが最新のものを使用している場合、直ちにメイン画面（図 3-1）が表示されます。

(2) 古いバージョンを使用している場合：

使用している沖縄県電子納品チェックソフトが古い場合、下記の「最新バージョン情報」画面が表示され、現在のバージョンと最新のバージョンがそれぞれ表示されます。

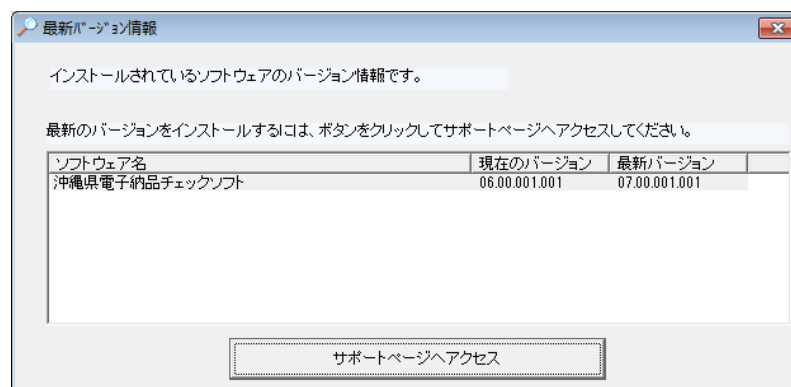


図 6-1



Tips

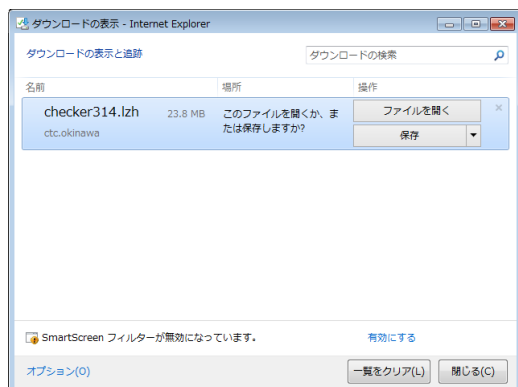
バージョン自動照合機能は、図 3-2 のメニュー [ヘルプ] ⇒ [バージョン照合] からでも使用できます。

6.2 バージョンアップに関して

(1) バージョンアップする場合

バージョンアップをする場合は、[サポートページへアクセス] をクリックすると、ダウンロードサイトが表示されますのでダウンロードを行ってください。

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍すると、アップデートファイル (Setup.exe) が作成されます。Setup.exe を実行することでアップデートが行われます。



ダウンロードした圧縮ファイルを解凍すると、アップデートファイル (Setup.exe) が作成されます。



Tips

ダウンロードダイアログの表示形式は、ブラウザのバージョンによって異なります。

(2) バージョンアップしない場合：

サポートページへアクセスせず、直ちに図 6-1 の [×] をクリックします。現状バージョンの沖縄県電子納品チェックソフトが起動されます。

6.3 インターネットの接続環境に関して

(1) インターネットに接続していない環境

インターネットに接続していない環境では、沖縄県電子納品チェックソフトを起動すると、下図が表示されます。[キャンセル] をクリックして下さい。

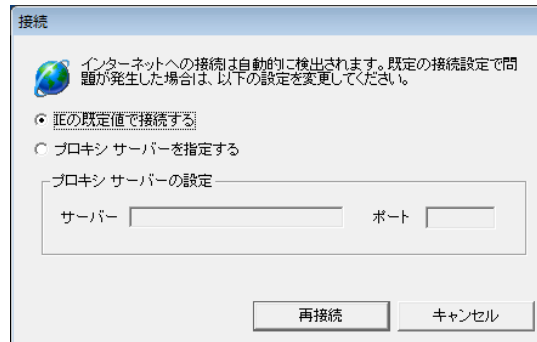


図 6-2

「バージョン情報が取得できませんでした」とメッセージが表示されます。[OK] をクリックすると、沖縄県電子納品チェックソフトが起動されます。

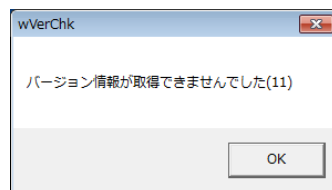


図 6-3

(2) プロキシサーバーの設定

プロキシサーバーの設定が必要な場合、図 6-2 の「プロキシサーバーを設定する」を選択した上、「プロキシサーバーの設定」の「サーバー」及び「ポート」フィールドに値を指定できます。プロキシサーバーの設定の方法に関しては、ネットワーク管理者にお問合せ下さい。



常にインターネットに接続しない環境であれば、沖縄県電子納品チェックソフトの環境設定の「自動バージョン照合機能を有効にする」項目のチェックを外して下さい。次回起動時からバージョン自動照合機能が動作しません。環境設定に関しては、【5 環境設定】を参照して下さい。

沖縄県電子納品チェックソフト

User's Manual

バージョン 12.0
